

**平成26年度 市政懇談会**

**会場別テーマに関する意見  
及びその他意見・要望と回答**

**三 次 市**

## はじめに

平成26年7月1日から29日にかけて、市内12会場で市政懇談会を開催し、延べ999人の市民の皆さんに出席していただきました。各会場で、地域ごとにまちづくりに関する身近なテーマを設けて意見を出し合っていくという懇談形式で、市政に関する幅広いご意見・ご提言をいただきました。

会場でいただいた貴重なご意見は、関係部局等で対応を協議し、今後の市政運営に反映させていただきます。

各会場で出された、主な意見・要望と回答をまとめましたので、ご覧ください。

### 【問い合わせ先】

〒728-8501 三次市十日市中二丁目8番1号

三次市総務部 秘書広報課

電話(0824) 62-6103 /FAX(0824) 62-6223

メールアドレス [hisyo@city.miyoshi.hiroshima.jp](mailto:hisyo@city.miyoshi.hiroshima.jp)

# 目 次

作木会場	P 1～P 7
君田会場	P 8～P 11
三良坂会場	P 12～P 22
三和会場	P 23～P 26
田幸会場	P 27～P 31
布野会場	P 32～P 34
吉舎会場	P 35～P 38
甲奴会場	P 39～P 44
川地会場	P 45～P 51
十日市会場	P 52～P 64
三次会場	P 65～P 72
八次会場	P 73～P 76

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【作木会場】

### テーマ

#### (1) 作木に住み続けるために

平成26年7月1日(火) 会場名 作木山村開発センター

意見・要望	回 答
<p>① 最近、山が皆伐されるという状況がこの近辺でも見受けられる。木を切ったことを起因とした土石流災害が起きたときに、下流域に住む者にとって非常に恐ろしいものがある。</p> <p>もし災害が起きたときの原因者はどこになるのか。それを市として認めているのか。許認可を市はどうするのか。下流域に対しての説明責任はどう果たすのか。</p>	<p>一般的に市が森林施業する場合は、災害が発生しないような工事方法等で施工していますが、不備なところがあればしっかりと指導していきます。</p> <p>民有林の皆伐については、事前に伐採届を提出することになっており、その際に、市の森林基本計画で示している伐採や造林の方法、留意事項に照らして伐採届を受理しています。また、伐採に際しては災害が発生しないよう、地権者なり伐採業者に通知、また必要に応じて指導していきます。</p> <p>伐採が原因で土砂崩れが発生した場合の責任の所在は、山林は個人の財産であるため、基本的には山林所有者であるものと考えています。</p> <p>今後は庁内へ産業、総務、支所で連絡会議をつくってしっかりと情報の収集と共有をし、当面は災害対策本部を設置したときなどの見回りを強化するというような対応を考えます。</p> <p>広島県北部農林水産事務所も含めて、もっと深く指導ができないか、さらに研究をしていきたいと思えます。また、庁内で整理をし、自主防災会、地元の住民自治組織にも協議をさせていただきます。</p>
<p>② 市の総合計画の4つの挑戦の中に記載されている人口減少、少子・高齢社会への挑戦で、地域を発展させる具体的な施策について、聞かせてほしい。</p>	<p>具体案は庁内でも検討中ですが、いち早く進めたいのが、定住のU・Iターンをどうめざすのか地域の皆さんと一緒に組織を立ち上げることです。また、行政としてできるだけ早い時期に地域応援隊の青写真を出していきたいと思っています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>10月1日に各住民自治組織5人ずつ、総勢95人の地域応援隊を発足させ、活動を開始したところです。</p> </div>
<p>③ 私は畜産をしているが、川底に草や木が生えたりして全般的に川が高くなって、荒れた田んぼへ水が入ってくるような状態のところがあちこちにある。そのことによって田んぼの石垣が</p>	<p>河川に堆積土が溜まってきているのは事実です。道路改良や河川堤防などハード面へ力を入れてきましたが、安全面への配慮・手だてをしなければならぬと思っています。具体的な箇所を聞かせていただき、市としても予算の中で対応で</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【作木会場】

テーマ

(1) 作木に住み続けるために

平成26年7月1日(火) 会場名 作木山村開発センター

意見・要望	回答
<p>崩れたりしているところもあるので認識しておいてもらいたい。</p>	<p>きるものは実施し、補正や来年度を含めた予算措置もしていきたいと思っています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>平成26年10月15日に具体的な箇所をお聞きしたところ、河川<sup>しゅんせつ</sup>浚渫の全体的な傾向とお伺いしました。本市の管理する河川については、今後とも必要に応じて浚渫を行います。</p> <p>また、国や県の管理する河川の浚渫については、引き続き要望します。</p> </div>
<p>④ 私は、4年前に神戸からUターンして作木に住んでいる。猿の被害でせっかく楽しくつくってきた野菜、果実が取られて非常に悲しい思いをしている。被害は、作木の広域に広がってきているのではないかと思う。作物の被害もさることながら、楽しみ、やる気を失う損失のほうが大きい。今は猿の駆除、捕獲が全くできていないので、研究をして何とか助けていただきたい。</p>	<p>猿は記憶力また学習能力が高く、立体的な動きをすることから被害防止対策で決め手がないのが現状です。猿を見かけたら必ず追い払う、集落の皆さんが連携して見かけた猿を続けて追い払うことが人間に恐れを抱かすことにつながると考えます。また、農地、集落周辺にある放任の果樹や樹木を伐採していただき、くず野菜などの収穫<sup>とと</sup>残渣を残さないようにしてもらうことが集落の餌づけを防ぐことにつながると考えます。</p> <p>猿の被害対策のために研修会等を県と連携して現地で行うこともできますので、検討していただきたいと思います。また、作木町でも猟友会が猿被害防止策の研修会等を実施されています。</p>
<p>⑤ 作木町で音声告知放送が始まったが、現在の加入率は79%と聞いている。日々の連絡以外に防災情報伝達の機能を持っており、市では100%の加入をめざしていると思う。しかし、加入されてない家庭についてはその意味が伝わっていないのではないか。また、宅内工事費用を負担に感じるのではないかと考えられる。市役所から市民へ防災についての告知放送をどのように考えているか。</p>	<p>オフトーク通信サービスが終了することにもなる伝達手段の確保の必要性や、放送方法の変更事項などが、住民の皆さんになかなか理解されていないのではないかとのご指摘を受けていました。</p> <p>そういったご指摘もあって、1軒ずつ説明し、現時点で作木町の加入率は91.2%になっています。自己負担ということもあろうかとは思いますが、今後も引き続きご理解をいただくように働きかけをしていきたいと考えています。</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【作木会場】

### テーマ

#### (1) 作木に住み続けるために

平成26年7月1日(火) 会場名 作木山村開発センター

意見・要望	回 答
<p>⑥ 江の川カヌー公園は、夏場はとても盛況だが、冬場は利用者が少なく、大山のふれあい公園等との関連で団体の研修や合宿などを誘致していきたいと考えている。しかし、団体で入浴できる施設がなく、再々お願いであるが、早急に考えていただき、市がめざしているスポーツのまちづくりということを一歩進め、作木の地域活性化につなげていただきたい。状況について伺う。</p>	<p>本件については、住民自治組織及びNPO法人元気むらさくぎの皆さんの熱いメッセージをいただきたいと思っています。どのような思いでどのように活用していくのか十分聞かせてもらって、判断したいと思っています。</p> <p>合併時に、カヌー公園の基金として作木村から基金を持ち込み、今も目的基金として残していますから、皆さんの熱い思いを聞かせていただいて行政としてそういう方向性を持って進めていきたいと考えています。</p>
<p>⑦ 総合計画の中で、市職員による地域応援隊を設置し、地域を全力でバックアップするというのがあるが、住民自治組織の役員は大変関心のあることだと思う。案などの説明をいただきたい。</p>	<p>現在、庁内のプロジェクトにおいて、対話型ということ 키워ドにしながら、地域応援隊の中身について検討しています。</p> <p>近く、地域・住民自治組織の皆さんに、説明の機会を設けたいと考えています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     地域応援隊に関しては作木会場の②の回答と同じ。                 </div>
<p>⑧ 市が管理している地域の道路に穴があいているのを見つけた場合、直接本庁の部署に言ったほうがいいのか。</p>	<p>道路に穴があいた場合やトラックなどからの落下物、あるいはのり面や山からの倒木、落石などの緊急性の高い、放っておくとすぐ事故になるという状況のものについて、お知らせしていただくようお願いをしています。</p> <p>連絡は、支所へしていただき、支所機能を生かしながら本庁とも協議が必要であれば迅速に連携して対応します。</p>
<p>⑨ 合併10周年事業の中で、市の鳥にブッポウソウを追加する提言があり、直接保護に取り組む者としては非常にうれしい。</p> <p>大きくPRすると、撮影に長時間停留するなどリスクが発生する。希少動植物の保存の根拠は鳥獣保護法だけで、植物も盗掘などで非常に困っている。</p> <p>三次市は、希少な鳥、植物を保存して自然がすばらしいという意思表示をするのであれば、ぜひとも保護条例を制定し</p>	<p>先般も合併10周年記念式典の実行委員会の中で、市の鳥の追加について意見をいただきました。今後すべての会場で意見を聞かせていただき、最終的には議会等での協議の中で決定していきたいと思っています。</p> <p>ブッポウソウのみならずダルマガエルを含めていろいろな希少な動植物が市内各地にいるということは承知しており、そういう環境を守っていくという行政の役割が必要であると思っています。いつ、どのようにするというのは明言しませんが、条例化については十分検討すべきであると思っています。</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【作木会場】

テーマ

(1) 作木に住み続けるために

平成26年7月1日(火) 会場名 作木山村開発センター

意見・要望	回 答
<p>ていただきたい。日本の中で先駆けて取り組んでほしい。</p>	
<p>⑩ 家庭ごみについては、分別して収集場所に出すということが義務づけられており、特に家庭ごみの野焼きは法律で禁止されているが、いまだに野焼きをされる光景を目にする。中にはごみを収集場所に持っていくことが難しい方もいらっしゃると思うが、住民の意識改革をどのように進めていく考えか。</p>	<p>野焼きについては廃棄物処理法で禁じられています。法律上若干例外はありますが、焼却炉であっても、ご家庭とかそういう事業所で使われること自体が禁止されています。</p> <p>野焼きをしている方がおられたら、環境政策課へご連絡ください。職員が出向き、指導や確認等も行っていきます。また、ケーブルテレビや広報みよし、チラシ等でも啓発をしています。</p>
<p>⑪ 地域応援隊は市職員の研修になり、人材育成の有効な手だてになるのではないかと思っている。人事異動が市全体にわたっていくと、大字単位で地域のことわからない職員がいっぱい出て、官僚的な行政をやっているのではないかという声は随分あちこちで聞く。</p>	<p>地域応援隊は、一緒になってその地域をどう将来へつなげていくかということを考えるため、具体的に練っているところで、できれば秋のうちにスタートしていきたいと思っています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>地域応援隊に関しては作木会場の②の回答と同じ。</p> </div>
<p>⑫ 長期計画の中で、地域の個性を生かしたまちづくりをというようなことが大きな柱だったが、それを担っていく核になるのは住民自治組織と、もう一つは支所であり、その機能をどう考えているのか。まだまだ職員削減が進むのではないかという危惧を持つ。これからの支所のあり方をどう考えているのか。</p>	<p>支所を廃止する考えは毛頭ありません。これから周辺地域で手だてをしなければならぬ時に支所をなくしていくような形をとるべきではないと思っていますが、どういう体制を組むのか検証はしたいと考えています。</p> <p>また、支所の職員には、地域へ出て行くこと、地域や住民自治組織の皆さんと十分コンセンサスを取っていくこと、そして、いろいろな相談があったときに誠意のない対応をしていると支所の無用論になるということを支所長会議や部長会議で訓示しています。</p>
<p>⑬ 市の窓口へ年寄が行っても、どこへ行けばいいのかわからない時、職員に知らん顔をされるようなことがあると聞く。合併当時には窓口へ行っただけで最敬礼されるぐらいの感じがあったが、最近それがなく、ちょっと対応が悪いと話している人がいる。</p>	<p>入口には受付がありますし、入れば戸籍住民票関係の窓口がすぐであり、場合によっては起立して対応をしていますから、ご指摘のような対応はしていないと思っています。他の状況は、具体的に受け止めさせていただきたいので、個別にお聞かせください。</p>



会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【作木会場】

テーマ

(1) 作木に住み続けるために

平成26年7月1日(火) 会場名 作木山村開発センター

意見・要望	回答
<p>⑭ 山林の伐採について、私は君田で山の奥だがほとんど保安林になっている。だから、木材を伐採するとき、ある面積以上は森林法に基づいた申請が必要だと思う。そういうところを徹底してもらえればいいと思う。</p>	<p>保安林は、災害防止等の観点から伐採が規制されています。普通の皆伐等では、面積が20ヘクタールを超えますと保残帯を設置して適切な更新をするようになっていきます。保安林の場合は、保安林の解除をしないと伐採はできません。それに反することがありましたら、現地で確認させてください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>保安林の伐採には許可や届出が必要です。保安林ごとに伐採の方法や限度、植栽の義務など定められています。皆伐、間伐、作業道設置などを行うとする場合、広島県北部農林水産事務所林務第一課【TEL(0824)72-2015】へお問い合わせください。</p> </div>
<p>⑮ 合併して10年経つが、三次市は合併特例債をどれくらい消化しているのか。</p>	<p>合併特例債は、平成26年度末で大体230億円を少し超えるぐらいになります。三次市に発行できるのが250億円強で、20億円ぐらい残したいと思います。新市まちづくり計画の中での未着工の事業を中心に、これから5か年にわたって進めていきたいという思いを持っており、その20億円を財源にする予定です。また、30億円台の地方交付税の減少を想定していましたが、国が支所機能をその交付税の中でも単位費用として算定することとしたため、想定していた金額より3割から5割ぐらい減少できるのではないかと想定しています。これらを有効に生かしたいと思っています。</p>
<p>⑯ 神野瀬川や神野瀬ダム、高暮ダムもすばらしいが、木が茂って川が見えない。神野瀬、高暮のダム湖が見えるように少し木を切ったらかなりの観光地になるのではないかと思った。もう少し見晴らしをよくしてもらいたい。</p>	<p>神之瀬峡は三次市分がほとんどですが、県立自然公園に指定されており、木を勝手に切ったりすることはできません。景観がよくなることでお客さんが増えていくといった観点もありますが、自然保護の観点もありますので、県とも協議してみたいと思います。</p>
<p>⑰ 中地区の水道工事は平成28年には完成するという話を何回も聞いたが、間違いなく平成28年度には完成するのか。</p>	<p>平成28年度には工事完了するよう、進めていきます。</p>



会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【作木会場】

テーマ

(1) 作木に住み続けるために

平成26年7月1日(火) 会場名 作木山村開発センター

意見・要望	回 答
<p>⑱ 松江道ができて国道54号の車が少なくなり、その代わりバイクが走られるという話を聞くが、岡三洲でも、休みの日にバイクが何台か集団で通ったりする。</p> <p>このバイクに乗られる方をうまく地域おこしの対象にすることも、道の駅と同じように考えるべきではないかという気もする。</p> <p>それに伴い、道路で四輪車が通るのには危なくはないが、バイクが通るのに危ないという部分もあるので、バイクが増えていることを頭に入れておいていただきたい。</p>	<p>尾道松江線の三次以北がまず開通し、このたび三次東ICと吉舎ICの間が開通し、国道54号の交通量が半減しています。この交通量が減ったことを逆に利用して、バイクやサイクリストの方が、この国道54号を中心とした広島、島根両県の道路網について関心を持っておられます。</p> <p>サイクリストの場合でしたら、最近の自転車はタイヤも細いことから舗装の縦断、縦の方向に轍のような掘れたところがあると、そこにタイヤがはまってパンクすることがあるといったことを聞いています。</p> <p>市が管理する道路で、バイクを意識してどんどん整備ができるとは申し上げられませんが、国道54号あるいは県が管理する主要地方道・一般県道といったレベルでは、バイクやサイクリストが増えるといったところを視野に入れながら、広島県や国土交通省とも協議をさせてもらっています。最近では広島県あるいは島根県の方ともそういったサイクリストに対応できる道路整備をしようと、グレーチングの浮きや舗装などの安全性についても協議を始めています。</p>
<p>⑲ 今年4月から住民自治組織が放課後子ども教室をやらせていただいている。このままではよそへ行くという人も出る可能性があるという話を聞いた。また、2、3年後には作木の小学校も複式学級になるという状況と聞く。</p> <p>学校の選択制は廃止する方向をぜひ進めていただきたい。作木の子どもが現在よその学校へ行っている例もあるので、地域に学校がなくなる可能性を十分含んで考えてほしい。</p>	<p>自由学区制については、ご意見を参考にしたいと思いますが、制度開始から約10年経過して、特に平成26年度の中で、平成27年度の自由化制度についてどうするか検討したいと思っています。アンケートも実施しており、慎重に検討して早急に結論を出したいと思っています。</p> <div data-bbox="1048 1198 2067 1453" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>通学区域自由化制度の見直しについては、制度運用後10年の検証・評価を行う中で、保護者アンケートを実施し、小・中学校校長会、住民自治組織、PTA連合会からご意見を伺い、それらを踏まえながら、多面的な視点、考え方に立って、様々な選択肢を比較検討し、課題解決の方策を講ずることを考えあわせて慎重に検討をしました。</p> <p>その結果、平成27年度から“小学校、中学校を自由に選択できること”を</p> </div>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【作木会場】

### テーマ

#### (1) 作木に住み続けるために

平成26年7月1日(火) 会場名 作木山村開発センター

意見・要望	回答
	<p>基本に、学校選択ができる時期を小・中学校入学時または他市区町村からの転入時のみとすることとしました。</p> <p>これは、小学校6年間、中学校3年間、さらには義務教育9年間の継続した就学を意識して学校選択を行っていただくことを期待して改正したものです。また、「通学区域自由化制度」の見直しと併せて、「指定学校変更申立て」により指定学校を変更できる事由を厳格にしました。</p> <p>これらの見直しが課題解決の方策として有効にその効果を発現するためには、制度改正の趣旨や制度に対する意見や思いを保護者の方に丁寧に説明し、通学区域自由化制度を利用する者の責任と自覚、学校、地域、家庭の担う役割をお互いが意識し、連携・協働して子どもたちの育成にあたる必要があります。教育委員会は、今後も継続して通学区域自由化制度について、検証と評価をしていきます。</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【君田会場】

### テーマ

#### (1) 災害及び事故発生時の課題や問題点

#### (2) 人口減少問題

平成26年7月2日(水) 会場名 君田生涯学習センター

意見・要望	回 答
<p>① 平成27年4月以降,防災無線からケーブルテレビの音声告知に移行しなければならない理由及び経緯を聞きたい。</p> <p>また,君田町のケーブルテレビへの加入率は約95%と非常に高いが,加入していない家庭も若干ある現状で,加入していない家庭などへ防災情報が伝わるかどうかという不安がある。地域への説明会や機器の設置手続き,放送開始等のスケジュールについて,また,防災無線と音声告知を併用する期間があるのか,防災無線はいつ停止されるのかなど,音声告知への移行に係る具体的な内容を聞かせていただきたい。</p>	<p>現在使用中の防災無線については,アナログ波からデジタル波に移行しなければならないので,現在の機器が使用できなくなりますし,部品がなくなるので修繕や更新が難しくなります。また,防災無線の使用周波数は一つの自治体に一つの周波数帯しか認められないので君田だけの使用という事になりません。</p> <p>ケーブルテレビは,現在,様々な三次市の情報を各家庭に配信する大事なインフラですし,これまでに相当な整備費もかかっています。今後の更新もしていかなければならないということもあり,諸事情を総合的に検討し,音声告知放送を使わせていただくという判断をしました。</p> <p>今後の移行スケジュールについては,今月下旬から具体的に各常会長さんなどにお集まりいただき,スケジュールの説明をさせていただいた後に準備に入りたいと思っています。また,ご要望があれば各常会単位の説明会にも対応させていただくよう考えています。説明会が終了しましたら申し込みの受け付けを開始し,試験放送を実施した後に移行していく予定です。</p> <p>ケーブルテレビに加入されているご家庭においては,端末を設置すれば放送は聴けるようになります。残りのご家庭に対しても音声告知のみでの契約も出来ますので,加入の働きかけをしていきたいと思っております。</p>
<p>② 現在,防災無線では,防災情報だけではなく,熊出没の情報や学校からの急なお知らせ,振興区単位での行事なども放送されているが,今後どのような対応になるのか不安がある。</p> <p>また,火災発生時の緊急放送,サイレンのほか,屋外放送で毎日午後6時に流している「夕焼け小焼け」などの放送に対応していただけるのか聞かせていただきたい。</p>	<p>支所へ放送卓を整備しますので,その放送卓から君田町内への独自の放送は可能になります。</p> <p>また,屋外放送については,相当の費用がかかりますので,まずは音声告知の屋内にある端末の整備を優先させていただきたいと思っています。</p>
<p>③ 君田町内では携帯電話の不感地域の問題がいまだに残っている。君田町には神之瀬峡県立自然公園があり,自然公園を含</p>	<p>携帯電話の不感地域は,市内に5か所あります。櫃田地区については,国の補助事業を活用した取り組みを,携帯電話会社と協議をしながら進めているところ</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【君田会場】

テーマ

(1) 災害及び事故発生時の課題や問題点

(2) 人口減少問題

平成26年7月2日(水) 会場名 君田生涯学習センター

意見・要望	回答
<p>む櫃田地域の一部は不感地域のままである。 春から秋にかけては多くの観光客もあり、事故発生時や急病の時には、対応できないのではないかと心配をしている。 市から携帯電話事業者への働きかけをいろいろしてもらっているようだが、今後の見通しも含めて現在の状況を聞きたい。</p>	<p>です。現在、総務省の平成27年度事業として、携帯電話2社から櫃田地区への参画打診を得ています。 今年度アンテナ用地の確保および基地局からアンテナまでの光ファイバーの敷設に要する事業費の積算を行い、国の補助の予算確定後、平成27年度において、事業を実施し、電波発射となるスケジュールです。 ただし、地形が複雑なこともあり、すべてのエリアを解消するまでには至っていませんが、自然公園も含め、できるだけ不感地域が残らない方策を考えているところです。</p>
<p>④ 神野瀬川の水位観測所は、下流域の藤兼地区の栄橋にしかなく、水位の表示板もこの橋にしか取り付けられていない。上流にはダムが2基あり、子ども遊園地やキャンプ場もあるが、観測や危険を知らせる目安になる水位表示板がない状況にある。 表示板があれば消防団や住民の避難の目安になると思うので、神野瀬川を管理する県に要請をして、観測出来るものを2か所ぐらい、県道沿いから見える位置に付けて欲しい。</p>	<p>広島県北部建設事務所へ確認したところ、水位目盛りのみの水位表示板の設置について、今年の秋以降に1基施工するよう検討中という回答をいただきました。秋以降というのは、おそらく6月15日から10月20日までは出水期で、河川内での作業を控えなければならないという判断であると理解していますが、道路から見える位置に2か所程度は欲しいというご要望ですし、氾濫水位等の表示があったほうが便利であると言われましたので、それらの点も踏まえて、今後も県への要望をしていきたいと思っております。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>平成26年10月15日に広島県北部建設事務所長に要望し、次のとおり回答がありました。 氾濫危険水位の設定は、最も浸水被害のおそれがある地点を基に河川毎に指定しており、個別の地区での設定はしていない。よって、氾濫危険水位は</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>表示出来ませんが、水位標については、平成26年度に寺原橋と新記念橋に設置される予定です。</p> </div>
<p>⑤ 君田町では、君田温泉森の泉を中心にした観光産業を通し</p>	<p>最大の課題である人口減少問題について、住み続けたい町の実現が定住人口の</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【君田会場】

### テーマ

#### (1) 災害及び事故発生時の課題や問題点

#### (2) 人口減少問題

平成26年7月2日(水) 会場名 君田生涯学習センター

意見・要望	回 答
<p>て、豊かな自然環境を生かした都市住民との交流や絆を広げることが定住につながるとは考えるが、一方で君田町は農業の町である。農業は、市の大事な産業でもある。</p> <p>市の農業支援事業はある程度あるが、農業で頑張っている人を何にも増して応援していただきたい。中でも、新規就農者を農協等と連携してソフト面で応援するとともに、あわせて農機具の助成を行うなど、新規就農者の育成に本腰を入れていただき、定住者を増やす施策に力を注いで欲しい。</p>	<p>増加につながるということで、定住対策室を立ち上げ12人体制でプロジェクトを組み、生活最優先都市を実現し地域間競争に勝ち残るための対策に取り組んでいます。地域においても、住民自治組織の皆さんを先頭に頑張っていただいているところですが、これからも官民一体となって取り組みましょう。</p> <p>ご要望の農業の担い手育成については、JA 三次にも頑張ってもらいたいと思っています。市も独自の支援制度を持っており、定住者の増加に向けて、今ある制度を組み合わせながらPRし、本年度をスタートとして具体的な政策を出していきたいと思っています。</p>
<p>⑥ 介護保険制度の改正により、要介護3以上でない特別養護老人ホームに入所できなくなった。一人暮らし、交通の便の悪い地域に住み病院に通えない、あるいは食事の支度もできない方は訪問介護で対応せざるを得ないと思うが、どういう理由で要介護3以上が入所基準となったのかお尋ねしたい。</p> <p>また、特別養護老人ホームの入所申込者で、待機者がどのくらいおられるか伺いたい。</p>	<p>6月18日に成立した改正介護保険法では、特別養護老人ホームの重点化方針のもと、新しく特別養護老人ホームに入所される方については、原則として要介護3以上の方に限定されています。ただし、現在、特別養護老人ホームに入所されている方については、改正の対象外になっていますので、そのまま入所されていても大丈夫です。</p> <p>また、要介護1・2の方で、止むを得ない事情により特別養護老人ホーム以外の生活が著しく困難な場合は、市町が関与して入所が特例的に認められることになっていますので、実際には、そう大きな混乱にはならないのではないかと想定しています。</p> <p>市内の特別養護老人ホームの待機者数は、昨年4月に広島県が調査した数字によると、市内全体では、要介護1以上の方で633人の方が待機者です。そのうち在宅の方が、331人となっています。</p>
<p>⑦ 市内の教職員で、何人くらいが病気休暇で休まれているか聞きたい。教職員をしていた私の知人が定年前に退職したが、その理由を尋ねると、子どもに教える以外の仕事が多すぎて、とても定年まで勤められないと言っていた。</p>	<p>市内には、500人を超える県採用の教職員、そして、市の臨時的採用者が約100人で、約600人の教職員がいます。そのうち、体の病、精神的な病も含めて、病気休暇を取っているものが一定程度いると承知しています。</p> <p>職務内容に係る精神的負担の改善については、ここ数年、教育委員会でもしっ</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【君田会場】

テーマ

(1) 災害及び事故発生時の課題や問題点

(2) 人口減少問題

平成26年7月2日(水) 会場名 君田生涯学習センター

意見・要望	回 答
<p>病気休暇中の教職員の休暇に至った理由を，市として把握しているかどうか気になったので伺いたい。</p>	<p>かり力を入れて対策を取ってきているところです。何よりも教職員が，子どもたちに関わる時間をつくる事が大事だろうと思いますし，それ以外の事務处理的なことについては，一定程度の効率化を図り，削減できるものは削減するように，しっかり取り組んでいこうと考えています。</p>
<p>⑧ 教育委員会として，病気休暇を取られている教職員に対して，どのようなケアをしているか。</p>	<p>病気休暇を取られている先生方については，校長あるいは教頭が，主治医に症状を確認し状況を把握するように努めていますし，場合によっては，家庭訪問により先生方の状態が本当に復帰できる状態にあるかどうか話を聞いて，教育委員会の管理主事に報告しています。</p> <p>また，必要があればスクールカウンセラーに相談をしていただくなどのケアは教育委員会としても行っていますし，学校の管理職も大変に心を砕いていることはご承知ください。</p>



## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三良坂会場】

### テーマ

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 三良坂小中一貫教育校</li> <li>(3) 尾道自動車道三良坂 IC の活用</li> <li>(5) 三次市総合計画</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>(2) みらさか土地区画整理事業</li> <li>(4) 三良坂保育所老朽化の対応</li> </ul> |
|---|--|

平成26年7月4日（金） 会場名 三良坂コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>① 三次市における小中一貫教育校のモデル校にふさわしい教育内容となることを望む。その中で、地域が果たす役割は何か。</p>	<p>来年度からみらさか学園として開校する小学校・中学校では、三次市における小中一貫のモデル校として先進的な取り組みを進めています。特に、三良坂の良さや課題を調べて三良坂をグッドタウンにする、すてきな町にするのにはどうしたらいいのかをグループごとにテーマを決めて考えています。三良坂の自然、特産物、菊づくりなどが話題になっています。子どもたちは、三良坂に住み、働き、生活されている方々と話をしたり体験をしたりすることを通して、自分にとっての“ふるさと三良坂”についてしっかりと考えていこうとしています。それぞれ地域の皆さん方にもお話を聞かせていただいています。地域の方とかかわりを持っていきながら、子どもたちは地域を先生として三良坂をどうしていくのかということをも自分たちで考えています。キャリア教育について地域の皆さんに非常に協力をしていただいています。特に小学校3年生では「三次の特産品を見よう」、また4年生では「2分の1成人式」を実施しています。</p>
<p>② 三次市は中高一貫校の誘致を進めるとの新聞報道がなされた。中高一貫校と小中一貫教育校との関係はどうなるのか。</p>	<p>本市は小中一貫と中高一貫を二者択一的に捉えるのではなく、中高一貫校これは市立の中高一貫校ではなく、県がつくる中高一貫校だということをまず認識していただきたいと思います。小中一貫教育は義務教育9年間でつけるべき力をきちんとつけて卒業させる、そういうプログラムを持った教育です。本市で現在小学校、中学校で4,242人の子どもたちがいますが、三次市がめざす子ども像に向かって小中9年間を通じて育てていき、教育していきたいと思っています。小学校から市外へ出て勉強している子どももいますが、県立の中高一貫校が設置されれば、本市の子どもたちの中には、できるだけ三次の中で勉強してもらえないのではないかと、そうい</p>



会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三良坂会場】

テーマ

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| (1) 三良坂小中一貫教育校       | (2) みらさか土地区画整理事業 |
| (3) 尾道自動車道三良坂 IC の活用 | (4) 三良坂保育所老朽化の対応 |
| (5) 三次市総合計画          |                  |

平成26年7月4日（金） 会場名 三良坂コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	<p>う選択肢が増えていくのではないかと思いますし、中学を卒業して市内あるいは市外、県外の高校に進む子どももいますが、そういう子どもたちもできるだけ三次の中で教育を受けていただけるのではないかと思います。そして、中高一貫校と小中一貫教育校とで先生方が交流を通して、教育プログラムを交流させる、あるいは小中の中で子どもたちが挑戦する心を育てられるのではないかと思います。お互いが切磋琢磨して三次で育つ子どもたちが力を出せばいいと思います。小中一貫教育校と県立の中高一貫校は相対立するものではなく、お互いが影響し合って三次の子どもたちを育てていくのに大きな役割を果たすのではないかと考えています。</p>
<p>③ 小学校がなくなった地域のケアはどう考えているのか。</p>	<p>三良坂小中一貫教育校推進協議会を設立し、学校統合部会の中で3つの小学校の跡地活用について議論していただいています。実際に出た具体的な案は、灰塚小学校の保育所活用です。仁賀小学校と三良坂小学校については、まだ具体的な地元からの提案は出ていません。また、皆さん方のご意見を聞かせていただき、その施設、跡地活用についてしっかり検討していきたいと考えています。</p> <p>また、それぞれの地域、3つの小学校には伝統芸能を中心としてしっかり学校にかかわっていただき、地域の教材を提供していただいています。新しく一つに統合した学校で、その活動がどうなるのかというご意見等もいただいています。地域の方が学校のことで一生懸命に支援していただいて、みらさか学園になってもしっかり取り組んでいこうと考えています。現在、教育内容の部会でも取り込む内容等を検討しています。</p>
<p>④ みらさか学園のグラウンドは雨が降ればすぐ水たまりがで</p>	<p>三良坂中学校グラウンド関係の整備工事については、この小中一貫教育校建設事</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三良坂会場】

### テーマ

- |   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| (1) 三良坂小中一貫教育校<br>(3) 尾道自動車道三良坂 IC の活用<br>(5) 三次市総合計画 | (2) みらさか土地区画整理事業<br>(4) 三良坂保育所老朽化の対応 |
|---|--------------------------------------|

平成26年7月4日（金） 会場名 三良坂コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>き、排水がきわめて悪い。早急な改善を求める。</p>	<p>業に伴って附帯工事として今年度進めるように計画しています。実際の工期は、来年の1月から3月を予定しています。工事の内容については、周辺に水路を設置して、新たに土をまきならし、勾配をつけて、水路へ水が流れるように改良します。周辺の樹木等も水路設置に伴い何本か切らせていただくことも予定しています。この工事により、水はけが悪い状況の改善が図られると思っています。</p>
<p>⑤ クラブ活動などの関係で中学校が平成17年から、小学校が平成19年から自由選択制度となっているが、小中一貫校が整備された後には、この整理をどのように考えているのか。</p>	<p>保護者や子どもたちが自分に合う学校を選択していくと、それを受け入れるための学校が、特色のある学校をつくっていかうという、そういう思いでスタートしました。約10年が経過し、どういう効果が出てきたのか、目的の達成をめざしていましたが、それがどうなったのか、検討、検証していきたいと思います。地域との密着度が少なくなってくるのではないだろうか、あるいは、遠距離通学をしていくということに対する安全・安心、特に大災害時の課題もいろいろ出ています。再度そういう点も検討し、現在調査をしています。保護者の皆さん方にはアンケート調査も依頼し、回収しています。</p> <p>この通学区域の自由化については、できるだけ早いうちに教育委員会として判断をしていきたいと考えています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                 作木会場の⑱の回答と同じ。             </div>
<p>⑥ 三良坂中学校舎北側民地の、大きくなった木の伐採を所有者に促せないのか。</p>	<p>北側の隣地については私有地なので、建物、木について、教育委員会としてはなかなか手が出せない面があります。そういう面を地域の皆さん方や保護者の皆さん方がどのように地権者との話し合いをされるのか、いろいろと期待をしているとこ</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三良坂会場】

### テーマ

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 三良坂小中一貫教育校</li> <li>(3) 尾道自動車道三良坂 IC の活用</li> <li>(5) 三次市総合計画</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>(2) みらさか土地区画整理事業</li> <li>(4) 三良坂保育所老朽化の対応</li> </ul> |
|---|--|

平成26年7月4日（金） 会場名 三良坂コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>⑦ 充実した小中一貫校の教育を推進していくためには、教職員の配置の問題、そして生徒と先生のかかわる時間がどの程度あるのか、そういった問題等について再度検討されるべきではないか、その対応について伺いたい。</p>	<p>ろです。そういう面がベースにならないと、行政としての対応等も難しいと考えています。特に三良坂の方は非常に教育に対して熱心な方が多いと認識していますので、地域の皆さんの協力や判断もお願いしたいと思っています。</p> <p>教職員の配置は、基本的には県の教育委員会が定数配置ということで配置されます。そして、学校である程度こういうことに力を入れてもらいたいということで、県の教育委員会から教員を定数配置プラスでいただけます。現在、三次市では加配の教員は、県費で 29 人いると思います。そして、市費教員が 23 人、非常勤が 17 人、学校支援員が 19 人、学校介助員が 21 人、理科支援員が 3 人、それ以外にも A L T、事務職員も合わせて大体 100 人を超える市の職員を配置しています。その費用はおおむね年間約 2 億 5,000 万円になっています。したがって、三次市としてはそういう面では非常に力を入れています。また、児童・生徒の一人ひとりに向き合ったきめ細かい教育をしていただきたいと、現場の教職員に強く言っていますし、指導もしています。他の市町から三次市へ来られた教職員、特に校長から、三次は非常に手厚いと言ってもらっています。</p> <p>それからもう一つ、非常に注意しているのは、子どもと向き合う時間が学校の教職員は少ないと一般的に言われますが、小学校では 45 分の授業、中学校では 50 分の授業で、教職員が子どもと向き合って、一人ひとりの子どもを見て、寄り添ったきちんとした授業をやっていただくことが大変大切だと思っています。ただ、忙しくて子どもを見る時間がないということではなく、決まった時間の中で十分に授業力を高めてもらって発揮していただくことを考えています。</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三良坂会場】

### テーマ

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 三良坂小中一貫教育校</li> <li>(3) 尾道自動車道三良坂 IC の活用</li> <li>(5) 三次市総合計画</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>(2) みらさか土地区画整理事業</li> <li>(4) 三良坂保育所老朽化の対応</li> </ul> |
|---|--|

平成26年7月4日（金） 会場名 三良坂コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	<p>三次市は広島県の中では市費教職員を非常に多く配置しているので、その効果を是非とも出したいと思います。知・徳・体で県内の23市町でトップ5に入りたい、それも瞬間的に入るのではなくて常時、そのぐらいの力を子どもにつけていきたいと思っています。</p>
<p>⑧ 駅前地区の計画どおりの事業進捗を求める。下郷地区は土地活用が早期に図られることを要望する。この土地区画整理事業により定住促進を図り、活力あるまちづくりを進めていかなければならないと考えている。保留地売却等の今後のスケジュールはどうなのか。</p>	<p>今年度、販売に向けてその方法、区画別の販売単価あるいは時期等を定めていきたいと考えています。皆さん方のご協力をぜひともよろしくお願いいたします。</p>
<p>⑨ 土地区画整理事業は平成12年度に始まり、三良坂町の玄関口にふさわしいまちづくりに向けて活力ある市街地の形成を図ることを目的としてスタートし、幾度かの計画の見直しを重ねながら事業推進が図られている。三良坂支所の中に事務所が昨年設置され、今年は所長さんを置いていただき、所員も増やして体制を整えてもらっている。</p> <p>現在、下郷地区と駅前地区を結ぶ幹線道路整備に係る橋梁工事が始まっており、駅前地区や周辺を含む整備に向けての取り組みがされている。事業の早期完成に向けて努力いただいております。平成26年3月30日には尾道松江線の吉舎松江区間が供用開始となり、インターチェンジも完成し、平成26年度</p>	<p>事業も順調に進めていますから、3年ぐらい前倒しをして完成していききたいと思います。事業については行政が責任を持ってやっていきます。そのためには、これからの将来に向けたまちづくりの観点から、立ち退きをしてもらい、また帰ってもらって家を建てていただくということだけではなく、可能な限り皆さんと協議しながら事業の整備を進めていきたいと思っています。新しい大きな事業費の中で、また再開を決断させていただいた気持ちの中でも、駅前を中心とした将来に向けたまちづくりについて、皆さんにも考えていただきたい。立ち退きになって戸数がどんどん減ってしまっただうだったのかということのない形で皆さんに協力をいただいで新しいまちづくりとして進めさせていただければと思っています。やはり将来に向けたまちづくりについて住民の皆さんの思いを強く打ち出してもらいたいと思います。我々も一生懸命新しいまちづくりをするわけですから、これしかできません</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三良坂会場】

### テーマ

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 三良坂小中一貫教育校</li> <li>(3) 尾道自動車道三良坂 IC の活用</li> <li>(5) 三次市総合計画</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>(2) みらさか土地区画整理事業</li> <li>(4) 三良坂保育所老朽化の対応</li> </ul> |
|---|--|

平成26年7月4日（金） 会場名 三良坂コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>末には全線が完成する予定になっている。この南北軸の高速交通体系を生かすとともに、JR福塩線の活用を視野に入れた三良坂町の駅前周辺及び区画整理後の土地の有効活用を進めることは、この定住と交流のまちづくり、活力あるまちづくりに向け大きな役割を果たすものと期待している。当協議会としてもまちづくりを大きな柱として取り組むことについて皆さんの承認をいただいたところである。今後、生活基盤、環境、防災対策など多くの課題があるが、行政をはじめ関係機関との連携のもと、事業推進に努力していきたいと思っている。市長の考えを聞かせてもらいたい。</p>	<p>という短絡的な思いで事業をするつもりはありません。お互いに話し合いながら将来に向けたまちづくりへつなげていきたいと考えています。</p> <p>具体的には協議会の皆さんとお話をさせていただきたいと思っています。これからもご支援をいただき、主な整備工事について平成29年度の完成が少しでも早くなるように行政も頑張っていきますので、皆さんのご協力をお願いします。</p>
<p>⑩ 尾道自動車道は今年3月に三次東JCT・ICから吉舎ICまでが開通し、来年には、全線開通の予定である。三次市内には三良坂ICを含めて新たに三つのインターチェンジができ、地域の特徴に合わせた活用が求められている。我々も知恵を出していかなければならないが、市としてどのような方針をもっているのか。</p> <p>6月25日の中国新聞に「国土交通省は高速道路の無料区間に道の駅を設置することを検討」の記事が掲載された。三良坂ICにはチェーンベースのすぐそばに使用可能な広大な土地がある。道の駅は施設管理、管理運営など大きな課題もあ</p>	<p>中国横断自動車道尾道松江線の全線開通により、商圈人口の拡大や地域間交流が活発化することが見込まれ、平成27年度は本市にとって県内外にPRする絶好の機会だと捉えています。今後、オール三次の観光推進戦略等に基づき、山陽、四国方面へのPR強化に努めていきたいと考えています。</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三良坂会場】

### テーマ

- |   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| (1) 三良坂小中一貫教育校<br>(3) 尾道自動車道三良坂 IC の活用<br>(5) 三次市総合計画 | (2) みらさか土地区画整理事業<br>(4) 三良坂保育所老朽化の対応 |
|---|--------------------------------------|

平成26年7月4日（金） 会場名 三良坂コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>るが、誘致を検討する考えはないか。</p> <p>① 中国横断自動車道尾道松江線整備事業の関連で、もともと横断道から2年遅れてサービスエリアをつくる、松江線の間で三良坂が一番いいのだからサービスエリア、スタンド、トイレをつくるという話で、両側へかなりの土地を買収された。当時は有料道路で片道2車線、往復4車線の幅でつくるということになっていた。そして、そのサービスエリアをつくるために基盤整備して償還している田んぼが約3町、住宅が4戸立ち退きになってサービスエリアの土地に変わった。片方は山だったので、そこはそのままだったが、その後、無料道路になって、岡田へ抜けるトンネルの泥の置き場になった。つい最近、活性化事業ということでこの長田ICができ、冬季のチェーン交換する場所として土地が確保され、鍵がかかって入れなくなっており、今は高速が通るだけになっている。尾道松江線の開通は、ただ時間が短縮されるだけとなっており、三次に4か所あるインターチェンジすべてについて通過地点になりかねないと思っている。新聞で一時吉舎ICの活用が多いと書いてあった。それは今年一年、吉舎が終点であるからである。来年は全線開通するから、おそらくこの三良坂と同じようにただ単に通過地点になるのを心配している。</p>	<p>チェーンベースの件ですが、活用する時期は冬季ということで、その他の時期は閉鎖されているということは事実です。何らかの形で活用するというのは、今までその活用自体を国土交通省自身も弾力的な考えも打ち出されていませんし、行政としても決めていませんので、ここでその活用についての具体的な面については差し控えさせていただきます。将来的な課題として受けとめていきたいと思えます。</p> <p>今、当面の戦略は、三次市は通過されない、スルーされない町ということで、1つは市内へ降りてもらおう仕組みづくりを進めています。拠点の一つは酒屋です。新聞等でご存じのように、農業交流連携拠点施設、いわゆる産直市、道の駅的な施設整備を先般も議会で議決をさせていただいて来年の春までには完成させて全線開通までには運用開始をしていこうと進めています。農業、農産物の販売とか商工製品の販売を行い農業振興、商工業の振興をめざしています。今、会員の募集について市内一円にわたって説明して回るようにご案内をしています。ぜひ、今日お集まりの皆さんをはじめ、町民の皆さんにもそこを生かしていただくようお願いします。沿線へサービスエリア、トイレ、スタンド等の施設をつくるという考え方があると思いますが、まずは拠点づくりに全力を挙げてやっていますので、ご理解をいただきたいと思えます。</p> <p>高架下の活用については、地域の皆さんの声を聞かせていただいて、国土交通省との協議を最終的に詰めていきたいと思えます。どういう面で活用していくか、改めて私のほうへも聞かせていただきたいと思えます。それによっては、国との話し</p>



## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三良坂会場】

### テーマ

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 三良坂小中一貫教育校</li> <li>(3) 尾道自動車道三良坂 IC の活用</li> <li>(5) 三次市総合計画</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>(2) みらさか土地区画整理事業</li> <li>(4) 三良坂保育所老朽化の対応</li> </ul> |
|---|--|

平成26年7月4日（金） 会場名 三良坂コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>初めのトイレ、スタンド、サービスエリアができるような方向にならないかお尋ねする。</p>	<p>合いの場を持っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>長田地区、岡田地区の高架下の有効活用にあたり、道路管理者（国）が将来的な利用計画を策定する必要があるため、三次河川国道事務所が去る11月25日に「高架下等利用計画検討会」を設置し、高架下等の利用計画の策定に着手されました。</p> <p>今後、地域コミュニティのあり方や地元の利用計画等意見聴取の場も設定し、平成27年7月頃を目途に利用計画を策定する予定です。</p> </div>
<p>⑫ 三良坂保育所は灰塚小学校の跡地に移転する計画であるとの新聞報道がされた。環境面や安全面などに十分配慮され、保護者会などの意見を尊重して移転を進められたい。</p>	<p>保護者会の皆さんのいろいろなご要望は承っています。建物、施設整備について、保護者会の会長さん、役員の皆さんに誠心誠意一緒になってやらせてもらうとお答えしています。担当の子育て支援部へ、園庭、通所バス、運行時間帯も含めて指示をしていますので、協議会を立ち上げることは想定していません。一生懸命誠実にやっていますので、それを経て必要があれば、相談、協議を受けるという形を考えています。小中一貫教育校も粛々と進めています。近い将来には給食センターをどうするのかという課題もあります。幾多の整備を一つひとつ着実に実施していますので、その状況を見てもらい、保育所の件も一緒に考えていきたいと思っています。</p>
<p>⑬ 今年策定された三次市総合計画の中に「市職員による地域応援隊を設置する」とあるが、どのような役割を担うのか。</p>	<p>市職員による地域応援隊については、三次市総合計画に示す4つの挑戦実現プロジェクトの中で制度設計に向けて論議を行っています。現在、このプロジェクトでは住民自治組織の皆さんとこれからのまちづくりのあるべき姿について意見交換を</p>



## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三良坂会場】

### テーマ

- |   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| (1) 三良坂小中一貫教育校<br>(3) 尾道自動車道三良坂 IC の活用<br>(5) 三次市総合計画 | (2) みらさか土地区画整理事業<br>(4) 三良坂保育所老朽化の対応 |
|---|--------------------------------------|

平成26年7月4日（金） 会場名 三良坂コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	行っているところです。10年後の地域のあるべき姿を見据えて、その体制づくりと地域とのコミュニケーションのあり方が問われていると考えています。地域応援隊の目的は、相互関係と協働の再構築を行っていくことに考えています。規模等については制度設計を行う中で住民自治組織の皆さんと協議を行い、秋には発足させたいと考えています。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                         地域応援隊に関しては作木会場の②の回答と同じ。                     </div>
⑭ 私は聴覚に障害っており、意思疎通支援者といひまして、今日、要約筆記者を配置していただき、こういう場に参加できることをお礼申し上げます。 三次市の障害者支援センターへ手話通訳者は雇用をされていますが、難聴者、中途失聴者に対しての意思疎通支援者、要約筆記者は採用されていません。三次のように中山間地で高齢化が進んでいる地域では手話を使える方はほとんどいません。全国的には聴覚障害者の中で8割以上の方は手話が使えないというデータもあります。そういう中で三次の中では手話通訳者は雇用されていますが、要約筆記者が雇用されていないので、ぜひ職員の採用をお願いしたい。	手話を理解していただくというのは、中途失聴者の方については大変難しいということで、要約筆記という方法がとられています。本市でも要約筆記の養成講座を、三次市要約筆記サークルの皆さんの協力により育成等に努めていただいています。要約筆記者を市の窓口で職員として雇用してほしいというご意見については、今後の障害者福祉に係る意志疎通支援やコミュニケーション支援のあり方について、今年度、障害者福祉計画（6年間）を策定していきますので、ご意見・ご要望として受け止めさせていただきます。
⑮ 大きな問題ですが、昨年4月から障害者福祉支援法が国の法律の中に明記され、障害者の差別解消法も時期を同じく	障害者差別解消法という新しい国の動きや取り組みが、本日用意しています資料の中に明記がないというご意見ですが、ここに紹介しています保健・医療・福祉の

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三良坂会場】

### テーマ

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 三良坂小中一貫教育校</li> <li>(3) 尾道自動車道三良坂 IC の活用</li> <li>(5) 三次市総合計画</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>(2) みらさか土地区画整理事業</li> <li>(4) 三良坂保育所老朽化の対応</li> </ul> |
|---|--|

平成26年7月4日（金） 会場名 三良坂コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>してできました。そして、世界では障害者の権利条約も国が百数十か国のうちの、やっと百何番目で批准をしたという大きな節目を今年の4月に迎えました。そのような障害者施策の中で今回の市政懇談会の資料の中に市としての障害者の福祉というものが明記されていません。障害者支援センターのことについては、一部26ページに記載をしてありますが、市の基本的な障害者の施策というものが明記されていません。これについて聞かせてもらいたい。</p>	<p>施策については、三次市総合計画の基本施策の中に盛り込んでいます。障害福祉や高齢者福祉など福祉関係については、三次市が特に他市に誇れる施策や独自の事業について市民の皆さんに知っていただきたい内容を限られた紙面の中で編集しています。ご意見をいただきましたように見方によりましては不十分に感じていただいたものと思います。本日、いただきましたご意見については、来年度の資料作成にあたり、参考にさせていただきたいと思います。</p>
<p>⑩ 厚生労働省が介護保険法の改正により、来年の4月からは要介護3から施設入所、特養の入所という形を打ち出しています。三次市では要介護1、2の対象者が非常に多いと聞く。すでに入所されている方はそのままということでしょうか。でも、三次市独自の対策等があれば聞かせていただきたい。</p>	<p>今回の介護保険法の改正では、ご紹介がありましたように、要介護3以上という重度の方を特養入所対象とする方針となりました。しかしながら、要介護1、2の方であっても、認知症等の事情により自宅、在宅での生活が困難であるという方については、市町村が関与することにより、必要に応じてその方も利用できることとなっています。したがって特別な事情等のある方については、あまり大きな変更にはならないと思っています。なお、これから介護が必要な人口が増える中で、これまで以上に在宅での生活が継続できる体制づくりのために、市は、地域包括ケアという新しい仕組みについて、今後全力で取り組んで行く必要があると考えています。</p>
<p>⑪ 免許証を返納した時、単年措置ではあるが、タクシーの1万円の券が本人に渡された。家族が行ったら、本人しか使えませんので残念ですがお引き取り下さいという話が当局からあったそうだ。1万円というのは貴重なお金で、本人が病院</p>	<p>免許証の返納制度について、持ち帰らせていただき、後日回答させていただきます。</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三良坂会場】

### テーマ

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| (1) 三良坂小中一貫教育校       | (2) みらさか土地区画整理事業 |
| (3) 尾道自動車道三良坂 IC の活用 | (4) 三良坂保育所老朽化の対応 |
| (5) 三次市総合計画          |                  |

平成26年7月4日（金） 会場名 三良坂コミュニティセンター

意見・要望	回 答
に入院していて、家族は免許がないなどの状況で、使えないというのはどうなのか。融通をきかせていただいて、家族でも使えるように、状況等よく聞いて判断していただけないか。	今のところ、免許返納者ご本人のみの使用となる旨を、三良坂支所から回答しました。今後の使用範囲の拡大については、検討課題としていきます。

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三和会場】

### テーマ

#### (1) 定住へ誘う「魅力あるまちづくり」の方策

平成26年7月8日(火) 会場名 みわ文化センター

意見・要望	回 答
<p>① 市の定住対策について、もう少し拡充していただきたい。例えば、空き家バンクなども、空き家を求める場合の安全対策や上水道、下水道に関しても不自由なく使える助成があればいいと思う。</p>	<p>定住促進に係る宅地購入・新築奨励金制度と三次市空き家購入サポート事業補助金制度で支援をしています。</p> <p>宅地購入・新築奨励金制度では、市外に在住の人が三次市に定住の目的で、</p> <p>① 市の所有する分譲地を購入し、住宅を新築または購入した場合、土地と家屋に係る固定資産税の納税額に相当する額を奨励金として5年間交付します。</p> <p>② 対象分譲地以外の市内の土地に住宅を新築または購入した場合、家屋に係る固定資産税の納税額に相当する額を奨励金として5年間交付します。</p> <p>三次市空き家購入サポート事業補助金では、市外在住の人が、三次市空き家情報バンクに登録されている空き家を購入し、生活に必要な改修工事を行った場合に、費用の2分の1以内の額で、150万円を上限とし補助します。</p> <p>それぞれに要件がありますので、詳しくはお問い合わせください。</p>
<p>② お年寄りの方が亡くなられて、空き家になっている状況がよく見受けられる。先祖からの土地、家を手放すというのは、なかなか決心がつかないのかもしれないが、もう少し呼びかけて、早い段階で家を手放せるような方策があればいいと思う。</p>	<p>空き家情報バンク事業において、新たに売買を希望される人のために、広島県宅建協会と連携を図っています。無料での家屋査定や行政では行うことのできない価格決定や不動産取引の仲介を担っていただいています。</p>
<p>③ 物産館みわ375を拠点として、皆がよし三次プロジェクト推進協議会という組織がある。都市と農村の交流をイベントとして行っている組織で、この秋にも収穫祭として、交流イベントを行うようになっている。こういう団体も助成金頼みで、なかなか思うに任せないというような状況があり、大変苦慮しておられるようである。市からの支援をしていただきたい。</p>	<p>三和町は、市内では有数の農業地域であり、米、各種野菜、また加工品等についても多くのものがあります。物産館みわ375は地域の活性化、農業振興という意味で地域の農産物の加工品の販売等に取り組み、今回の都市農村交流も農業資源を生かした取り組みだと思えます。このような取り組みについては、産業部としても支援していきたいと考えています。</p>
<p>④ 現在、市は増田市長を先頭に企業誘致に心血を注いでおられ</p>	<p>就業についての取り組みですが、今年も8月18日に三次市就職相談面接会を予</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三和会場】

### テーマ

#### (1) 定住へ誘う「魅力あるまちづくり」の方策

平成26年7月8日（火） 会場名 みわ文化センター

意見・要望	回 答
<p>る。企業の地元住民への社員募集の状況、そしてPRは市内だけであるのか、県内外にも及んでいるのか、また市はそういった折、一翼を担っているのか。</p> <p>今後も定住、Uターン、Iターンを促すよう推し進めていただきたい。</p>	<p>定めています。</p> <p>これは、市内の企業と市内への就職希望者との相談面接で、マッチングができれば就職していただけるものです。みよし就活ニュースや、みよし就活ネットでもPRをしっかりとしていきたいと考えています。</p> <p>また、今年度広島県内の大学等を訪問し、三次市の企業のPRをさせていただいたところです。また、みよし就活ニュースも発行し、市内の企業の求人状況なり、また採用計画等を、就職希望者に紹介しています。みよし就活ニュースは、就活されている人への情報提供として2,000部作成しています。</p>
<p>⑤ 中国横断自動車道尾道松江線の開通に伴い、三次も中間地点の利便性を生かし、いかにして観光客を呼び込むか、いろいろと検討、計画をされていると思う。県外からの家族が途中下車するように、魅力ある楽しめる観光地としての宣伝、夢のあるまちづくりを進めていただきたい。</p>	<p>(要望につき回答なし)</p>
<p>⑥ 三和中学校の生徒が三次市内の高校へ通う場合、公共交通機関を使っただけの通学ができない。</p> <p>スクールバスのようなものを運行していただけないかと思う。現在、安芸高田市では、三和町と甲立駅の間の通学の手段としてタクシーを運行している。保護者が一部費用を負担しているが、大半は安芸高田市の財政を充てていただいていると思う。それが安芸高田市の高校を選ぶ一つの要因だったということも保護者から聞いている。三次の高校へ通わせて、三次の魅力をしっかり子どもに植えつけて、将来自分たちがここに定</p>	<p>我々も悩んでおり、また地域公共交通会議でも検討していますが、これらも万全ではありません。いろいろ見直しをしながら、何ができるかということも考えながら検討させていただきたいと思います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>このようなご意見があったことについて、交通会議で報告し情報共有しました。</p> <p>地域内交通と市内中心部への幹線交通のあり方については、今後策定する公共交通網形成計画の中で具体的に検討していきます。</p> </div>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三和会場】

### テーマ

#### (1) 定住へ誘う「魅力あるまちづくり」の方策

平成26年7月8日（火） 会場名 みわ文化センター

意見・要望	回 答
<p>住したい、あるいは自分たちで三次市の課題を見つけて、それを将来自分たちが定住したいまちに変えていってほしい。</p>	
<p>⑦ ニイテック三和工場内には約 20 人が住める社員寮がある。現在ほぼ中国人実習生が住んでおり、もともと住んでいた日本人従業員は転居している。その転居先は、ほぼ 100%が甲田町で、その理由は、三和町に単身者が住む住居がないというのが最大の要因である。また、安芸高田市（甲田町）から三和町への公共交通機関がないということがある。</p> <p>甲立駅から三和工場まで来る手段がないという懸念もある。三和工場に勤務している従業員も三和町で住んでいる家族もそこに永住するかというと、そこから高校を出る、大学を出るという点で、公共交通機関の壁というものが非常に大きいという話をよく聞くので、そのあたりを考慮していただきたい。</p>	<p>青河町では、子どもたちを残すために自らの手で住宅を建てて若い人を招き、家賃でそれを返済しながら一つひとつ増やしてこられた状況もあります。単身住宅、あるいはいろいろな定住住宅を含めて、これからの課題だと思います。行政が全部受けていくという時代とは違い、企業や地域の皆さんと一緒に取り組むなど、いろいろな考え方を出しながら一つの取り組みをスタートさせていただきたいと思います。</p>
<p>⑧ 害獣被害について、農業従事者は本当に困っている。害獣駆除を市へお願いしているが、市から害獣駆除班へ仕事を依頼される場合の補助金の額がかなり少ないという話を聞いた。実際どうなっているのか。害獣対策について、市での考えを伺いたい。</p>	<p>害獣対策で最も重要なのは、集落ぐるみで協力して餌付けを止めるということだと思います。餌付けとは、放置している作物、雑草、生ごみなどがあれば、それを餌としているいろいろな害獣が来ます。そういうものをなくすることが必要です。</p> <p>次に柵で守るということで電気柵、ワイヤーメッシュ、トタン柵等で侵入を防ぐ、また見かければ追い払うということだと思います。</p> <p>それでもまだ出るということであれば捕獲ということになるかと思っています。</p> <p>駆除班の活動費は、年間2万円の活動費、また一斉駆除の場合は1人7,000円、また1回1日ごとに500円の出動手当を払っています。さらに、捕獲補助として</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三和会場】

テーマ

(1) 定住へ誘う「魅力あるまちづくり」の方策

平成26年7月8日(火) 会場名 みわ文化センター

意見・要望	回 答
<p>⑨ 健康に関する説明の中で、みわスポーツクラブの名前を出してもらい認知されていると感じた。 みわスポーツクラブを増田市長はどのように評価されているのか。行政として団体に望むこと、期待していることを、お聞きしたい。</p>	<p>はイノシシが1頭当たり7,000円、鹿が7,000円といった補助をしています。 スポーツクラブを全市的に広げたいという思いをもっています。行政として、どういう形で支援ができるかを、具体的に考えていきたいと思っていますから、三和からスポーツクラブの灯が消えることのないように頑張ってください。大きな期待を持っていますので、一緒に汗をかくところはかかせていただきたいと思います。</p>



会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【田幸会場】

テーマ

- (1) 高齢者地域における「思いやり」事業      ①住宅確保と若者の定住対策 ②高齢者の生活支援対策  
 (2) 地域応援隊の具体的な施策                      (3) 自主防災  
 (4) 市道西酒屋仁賀線への歩道整備

平成26年7月9日(水) 会場名 田幸コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>① ひとり暮らしや老老介護世帯の買い物難民問題や高齢者の通院手段の確保等について、市と住民自治組織が一体となって解決が図れたらいいのではないかと。</p>	<p>これからの行政は、民間や地域とのコーディネートをしながらか、その地域に合ったサービスの創出・情報提供等に努めたいと思います。介護認定を受けている人については、ホームヘルパーから買い物支援等のサービスを受けることができますが、介護認定を受けていない人で買い物支援等の必要な人が増えているというのがこれからの課題だと思います。行政以外の買い物支援としては、社会福祉協議会の「はるかぜネット」や三次市シルバー人材センターの「シルバーアシスト事業」などがあり、つなぎ役・情報提供に努めたいと思います。交通手段の確保については、地域の交通確保のために、これまではデマンド型交通・市民バス・市民タクシー等、地域の特性に合った取り組みがありますが、行政が一方的にではなく地域の住民自治組織の皆さん・交通関係者の皆さんと一緒に取り組みたいと思います。</p>
<p>② 市職員による地域応援隊について、行政と地域の協働が地域応援隊の基本となると思うが、ただ市の事業を肩代わりする、住民自治組織同士の競争を煽るような形には絶対にしてほしくない。地域おこし協力隊の検証・総括はどうなっているのか。</p>	<p>地域応援隊については、それぞれの地域の課題・問題点について皆さんと一緒に汗をかかせていただき、地域の皆さんと行政の信頼感が増していく取り組みをしていきたいです。イベントの手伝いをしていくというような内容で地域応援隊をつくっていないことをご理解ください。地域応援隊は、10月にスタートしたいと考えています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>地域応援隊に関しては作木会場の②の回答と同じ。</p> </div>
<p>③ 自主防災についての提案で、土のう袋を用意していると聞いたが、新斎場や工事現場に、実際の土のうを設置して緊急時に</p>	<p>できるだけ効果的な対応が必要なので、土のうの設置場所等について、国土交通省配備の土のうの利用や市全体への配備の考え、地域の実情等を踏まえ、個別</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【田幸会場】

テーマ

- (1) 高齢者地域における「思いやり」事業 ①住宅確保と若者の定住対策 ②高齢者の生活支援対策  
 (2) 地域応援隊の具体的な施策 (3) 自主防災  
 (4) 市道西酒屋仁賀線への歩道整備

平成26年7月9日(水) 会場名 田幸コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>備える方がいいのではないか。</p>	<p>に対応していきたいと思います。</p>
<p>④ 市道西酒屋仁賀線の山手交差点から国道184号線までの間に歩道がないため、非常に危険で歩けない状況である。利用者も多いので、早期に歩道の設置を実現してほしい。</p>	<p>市道西酒屋仁賀線の山手交差点からの歩道の整備について、現在、整備計画はありませんが、大きな課題として認識しています。今後の検討資料として、通学路として利用する児童数や将来推計について、神杉地区自治会連合会にも協力をお願いしたいと思います。</p>
<p>⑤ 人口減少問題については、三次市だけではなく国を挙げての大きな問題なので、行政のあり方やシステムづくりを構築する必要があるのではないか。また、住宅の確保・若者の定住対策等、働く場の確保がないと定住促進につながらない。小学校区単位で行政主導により、1軒でも2軒でも建てて定住促進できないか。</p>	<p>人口減少と少子高齢化を最大の課題として掲げ、具体的な施策をもって、10年間の重点の中で進めていこうと思っており、住民自治組織の皆さんと行政が一緒になって進めることが大事だと思っています。また、住宅に関しては、合併前の旧町村・旧三次市も公営住宅、定住住宅、若者住宅等、いろいろな手法で何とか食い止めていこうと施策を展開して、多くの人に住宅に入居していただき有益であったと思います。ご意見をいただいた住宅整備についても重要で、一緒に汗をかきたいと思います。行政が主導し、ハード整備をやっていき、協力してもらいたいです。一番大事なのはふるさとへの思い・ふるさとの良さをそれぞれの家庭・それぞれの地域で子どもたちに教えていただくことです。また、青河町では市民自ら出資して住宅を整備されていますが、これを参考にし、地域と行政がうまく組み合わせをして、様々な取り組みを進めていきたいと思っています。</p>
<p>⑥ 地域応援隊は市職員がこぞってか、ある程度人数が絞られるのか。どのような応援をしていただけるのか。事前に各地域の住民自治組織と意見のすり合わせ、連携を十分にしてほしい。</p>	<p>地域がこれからの将来に向けて歩いていくためには、行政として様々な施策を展開し、いろいろな相談を受け止めさせていただきたいと思っています。担当している地域振興課だけが出るといった考えはなく、いろいろな職種で編成していき、地域・住民自治組織の皆さんと話し合いながら、全体の市政の発展につなげていきた</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【田幸会場】

テーマ

- (1) 高齢者地域における「思いやり」事業 ①住宅確保と若者の定住対策 ②高齢者の生活支援対策  
 (2) 地域応援隊の具体的な施策 (3) 自主防災  
 (4) 市道西酒屋仁賀線への歩道整備

平成26年7月9日(水) 会場名 田幸コミュニティセンター

意見・要望	回答
	<p>いと思っています。地域の問題について一緒に考えていこうと思いますので、意見をいただきながら最終的に決定したいと思います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                     地域応援隊に関しては作木会場の②の回答と同じ。                 </div>
<p>⑦ 自主防災について、避難所への非常電源確保についてどのように考えているのか。</p>	<p>コミュニティセンター・学校等の公共施設を避難場所としていますが、現状では、非常のときの電源は、すべてには対応できていません。</p> <p>しかし、緊急地方防災力強化事業として4,000万円を3年間にわたって、1億2,000万円の予算化をしていますので、予算の中で対応をしていきます。消防の器具の充実、自主防災における機器の充実等を対応していきます。また、広島県のプロパンガス協会に防災の協力をしていただいて、非常のときはプロパンガスを提供していただけるといったお話をいただいています。</p>
<p>⑧ 三良坂の小中一貫教育について、三次市は今後小中一貫教育校を何校目標にしているのか。また、塩町中学校区は中学校1校・小学校4校なので、三良坂のような方式にはならないと思うが、どのように小中一貫教育を進めるのか。</p>	<p>小中9年間でめざす子ども像は、ふるさと三次を愛し、学び続ける力と社会の一員として積極的に貢献する志を持った子どもを、連携し合って教育するという事です。三良坂の場合は一体型の小中一貫教育校で、1つの中学校、1つの小学校で小中一貫教育を行います。また、塩町では、1つの中学校と4つの小学校が連携して、めざす子ども像を実現するよう教育をしていくということになります。現在、三良坂と同じような一体型の一貫校をほかの地域で作るのは難しいと思っています。</p>
<p>⑨ 斎場問題に関する協定書について、福祉施設や農産加工場を造る協定は現在どのようになっているか。</p>	<p>斎場整備に関わる福祉施設・加工場について、現在、地元で協議会を作っただけであり、町内会連合会からも参画していただき、役員の皆さんと市で意見</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【田幸会場】

テーマ

- (1) 高齢者地域における「思いやり」事業 ①住宅確保と若者の定住対策 ②高齢者の生活支援対策  
 (2) 地域応援隊の具体的な施策 (3) 自主防災  
 (4) 市道西酒屋仁賀線への歩道整備

平成26年7月9日(水) 会場名 田幸コミュニティセンター

意見・要望	回答
	<p>交換や協議をしています。市役所へ役員の皆さんにお越しいただき、市長との意見交換・要望をいただき、今年度予算に300万円の予算計上をしました。計画の実現に向けて、行政としても精一杯協議を進め、可能な限り田幸の皆さんに喜んでいただける・活用していただける施設を造りたいと思いますので、今後とも協議・検討をよろしくお願いします。</p>
<p>⑩ JR福塩線の、福山～府中間が開通して100年となるが、100年に当たってセレモニーをするのか。それと同時に、今度芸備線も100年になる。塩町が、福塩線と芸備線の境になっているので、塩町の駅・地域を活性化するためにも、市からお力添えをいただいたり、セレモニー等をするようであれば、田幸にぜひ声をかけていただきたい。</p>	<p>福塩線の100周年の記念については、100年を迎えるのは福山～府中間なので、今年の100周年事業には塩町駅は影響がないということです。続いて、平成27年に芸備線は100周年を迎えます。現在、志和地駅を中心とした川地地区において、来年4月28日の100周年に合わせ地元で開通イベントをしたいと盛り上がりをみせています。6月1日前後における100周年の開通イベントについて、芸備線対策協議会の中で沿線市(広島市・安芸高田市・三次市・庄原市)、JRで調整会議を開いています。具体的に決まったものは、現在ありません。</p>
<p>⑪ 三次市は来年度から、小中一貫校の取り組みを、三良坂で検証を行ったうえで、全市に広げるといったような記事が新聞に載っていた。一方、中高一貫校を推進し、広島県へ申し入れをされていると聞いた。小中一貫教育と中高一貫教育における中学生の学力に格差を生むのではないか。さらに、中高一貫校の取り組みは、優位な人材を育てる・人口増を図るなどの目標を念頭に推進するようだが、優秀な人材が地域に残らず外部に出ることが加速するのではないか。また、小中一貫教育と中高一貫</p>	<p>中高一貫校に入るには、試験を受けることになり、中高一貫校の生徒と、小中一貫校の生徒では学力に差が出るのは否めない現実だと思います。その差を埋めるように、小中一貫教育を行う中で努力をしていきたいと思っています。中高一貫校については、現在も小学校を卒業後、市外の中学校へ勉強するために出ていく子どもたちがいることに間違いありません。市外に出なくても三次の中で中高一貫校を選択して、三次市の中で選択肢を広げて勉強していく、教育をしていくことになり、小中一貫教育と中高一貫教育が相反することなくて共存できるような形で存立できればいいと考えています。また、小中一貫校と中高一貫校が交流する</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【田幸会場】

テーマ

- (1) 高齢者地域における「思いやり」事業 ①住宅確保と若者の定住対策 ②高齢者の生活支援対策  
 (2) 地域応援隊の具体的な施策 (3) 自主防災  
 (4) 市道西酒屋仁賀線への歩道整備

平成26年7月9日(水) 会場名 田幸コミュニティセンター

意見・要望	回 答
教育のどちらを選択するかという悩みが出てくるのではない か。子ども・親が安心して選択できる説明をお願いしたい。	ことで、お互いの力を高めることができると考えています。
⑫ 災害について、個人の山が崩れる危険性があるという段階 で、防止処置を市でしていただけるのか。また、基準等があれば 教えていただきたい。	農政関係では、小規模崩壊地対策事業(単県事業)があります。また、土木関 係では、急傾斜崩壊地対策事業がありますので場所を教えていただき、現場を見 て、どういう事業に当てはまるかを判断させていただきたいと思います。
⑬ 過去に市道で通学路に蜂が巣をして、市へ連絡したが駆除し てもらえず、学校と自治会館へ注意するように等の連絡があっ ただけだったことがあった。通報した人への連絡もなく、駆除 等の対応もなかった。このような場合の市の対応について教え てほしい。	通学路に蜂が巣をしているということでは、公共的な部分で市の対応となりま すが、蜂が巣をしている場所によって対応が違います。個人の山の場合と、市道 敷地内の場合では、若干対応が違ってくるともありますので、巣をしている場 所等の情報を教えていただき、対応させていただきます。

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【布野会場】

テーマ

(1) 10年後、20年後の布野町のあるべき姿を考えよう

平成26年7月11日(金) 会場名 布野生涯学習センター

意見・要望	回 答
<p>① 市民バスのバス停の場所について、利用者宅近くへの移動、道の駅等新たな場所に設置ができないか。また、JA布野支店や三次市布野支所、医院などよく利用する場所を周回してもらう路線にできないか。</p>	<p>地域公共交通体系に係る法律が改正され、地域の実情に応じ、まちづくりに対応した交通体系の再編が求められることとなりました。 利用者の実態を調査し、利便性を向上しながら、持続可能な地域公共交通網の形成をめざし、今年度作成する交通計画の中で反映していきます。</p>
<p>② 現在、備北交通バスの三次駅発最終便は18時9分発で、高校生がクラブ活動をする間に合わない。通学の利便性向上のため、備北交通バスの最終便の時間を遅くしてほしい。</p>	<p>運行時間の変更はバス事業者（この場合は備北交通）が行うことになっていきますので、事業者や飯南町と連携を図りながら運用を行っていきます。</p>
<p>③ 備北交通バスのバス停に、ゆめランド布野などを追加してもらえないか。また屋根付にしてもらえないか。</p>	<p>バス停の変更などは、バス事業者が行うことになっていきますので、バス事業者に伝えていきます。</p>
<p>④ 地域で除雪のための体制づくりを考えている。比較的大型の除雪機を購入したいが、除雪機を購入助成の条件を緩和してもらえないか。作業者の人件費が必要になるが、この人件費を支援してもらえないか。</p>	<p>三次市地域除雪サポート事業の有効活用をお願いします。上限額については、検討します。 人件費については、住民自治組織の中ではお互いの助け合いが原則であることから、市の支援は難しいと考えます。</p>
<p>⑤ 国道、県道、幹線市道除雪時の、家への進入路の雪を取り除いてもらえないか。また、通勤時間に間に合うよう早朝にしてもらえないか。</p>	<p>除雪事業者の数が減っており、町内で約60kmある路線を短時間で行うためには、個々の進入路の除雪は難しい現状です。計画されている地域の除雪体制などご理解をお願いします。 時間については、除雪機の数や積雪状況により時間がかかる場合もあるので、ご理解をお願いします。</p>
<p>⑥ 新しい三次市総合計画は、具体的な数値目標がないうえ、庄原市や広島市と中身は同じものだ。これでは計画とは言えない。</p>	<p>三次市総合計画は、まちづくりの目的や目標、その実現のための道筋を共有し、協働して取り組むための総合的な指針と考えており、市民委員、住民自治組織、アンケート調査などの意向を反映させて策定したものです。 めざすまちの姿は、「しあわせを実感しながら、住み続けたいまち」とし、具体</p>



## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【布野会場】

### テーマ

#### (1) 10年後、20年後の布野町のあるべき姿を考えよう

平成26年7月11日（金） 会場名 布野生涯学習センター

意見・要望	回 答
	的事業は実施計画などで示すこととしています。
⑦ 人口減少の問題は、住民の力ではどうしようもないところまで来ている。行政で解決してもらうしか方法がない。	人口減少の問題は、行政だけで対応できる社会情勢ではありませんので、住民自治組織を中心に住民の皆さんとともに努力をしていきます。
⑧ 新市まちづくり計画は、残った事業がどうなるのかわからない。 地域審議会で意見具申しても回答がない。市町村合併したことが良かったのか悪かったのか決着をつけてほしい。	現地調査などを行い必要な事業は、平成27年度から5年間で実施するフォローアップ事業としていきます。
⑨ 林業関係で、布野町では造林が盛んに行われてきた。売れる木もできており、その対応は、本来、行政がやらなければならないのではないか。	造林した木は、現在40年程度経過していますが、60年くらいが伐採の適期と考えています。 現在は、伐採がスムーズに行えるよう、林道整備や作業道整備などを森林組合など関係機関と一緒に進めています。
⑩ 簡易水道について、現在の水源だけでは今後不足すると思われる。第2水源の調査は行っているが、事業化されていない。1年でも早く確保をしてほしい。	花屋谷地区の水源が水量、水質とも良いことは、調査し確認しています。 現在、松江自動車道開通の影響でゆめランド布野の水の使用量が減っています。また、漏水管の更新事業で有収水量が増える様子を観察しており、今後も利用状況の推移を調査しながら検討していきます。
⑪ 「広報みよし」の中で、株式会社三次ケーブルビジョンの枠は「広告」となっていないが、掲載料はどうなっているのか。	株式会社三次ケーブルビジョンは第3セクターとして、ケーブルテレビを通して市内の様々な情報を提供している会社であり、広告としては位置づけておらず、広告料は徴収していません。
⑫ 図書館の利用促進をしっかりとPRするべきだ。	しっかりとPRしていきます。
⑬ 布野町にも文化的遺産があるが、標柱が倒れたり、無くなったりしている。後世にこの遺産を引き継いでいくことは重要だと思うが、今の状態を維持できる方策を考えてほしい。	貴重な意見として受け止めさせていただき、看板については、予算の調整をしながらできるものは対応していきたいと思います。 今後、文化遺産をどのように残していくかは、文化財保護委員や地元の人と検



会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【布野会場】

テーマ

(1) 10年後、20年後の布野町のあるべき姿を考えよう

平成26年7月11日（金） 会場名 布野生涯学習センター

意見・要望	回 答
	<p>討っていききたいと思います。</p>
<p>⑭ 三次市として指導農業士をどのように養成しているか。指導農業士は、新規就農者を受け入れたり、研修に参加したり農業や地域に貢献している。三次市でも指導農業士会を立ち上げて、農業振興の支援をしていただきたい。</p>	<p>広島県の指導農業士の要件が変わり、定年制が導入され、現在、本市の指導農業士は年齢的に該当されなくなりました。新規就農者の受け入れや研修については、認定農業者の方が受け入れられているので、現在のところ、市単独で指導農業士の制度は考えていません。</p>
<p>⑮ 電子メールでの緊急配信が届かない地域で、屋外での周知は、これまでのオフトーク放送の屋外スピーカーによる放送が有効だったのに、屋外スピーカーをなぜ撤去するのか。高齢者は、耳から聞くしかない。</p>	<p>現在、市全地域を音声告知放送に切り替えていくことを優先しています。屋外スピーカーについては、これらの整備が終わった段階で必要かどうかを検討していきます。</p>
<p>⑯ 警報が発令されても放送しないし、市職員や消防団員が知らせに来るといいますが、消防団に加入していても市中心部に勤務しているし、対応できるのか。</p>	<p>緊急時には、市職員はそれぞれの役割で対応しますし、これまでも消防団員を含め対応してきています。また、警報発令時は、支所に職員が待機しています。しかし、有事の際は、行政だけでなく自主防災組織などでも対応していただき、協力して命を守る努力をしたいと思います。</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【吉舎会場】

### テーマ

#### (1) 10年後の吉舎町を見据えて

平成26年7月15日(火) 会場名 吉舎生涯学習センター

意見・要望	回 答
① 中心部は拠点性の面でかなり整備をされているが、吉舎町では生活機能の低下が表れている現状の中で不安な日々を送っている。吉舎町における10年後の具体的な展望を伺いたい。	幹線国道184号が通り、来年3月には尾道自動車道が完成します。この利便性を重点的な取り組みの一つにしながら地域で長く引き継がれてきた吉舎の良さを組み合わせて、人口減少の対策・定住に向けて真正面から取り組むことを行政がしっかりとやりながら、地域の皆さんと一緒に地域を守っていこうという気持ちで進めています。
② 過疎化、高齢化、人口減少の中、吉舎町でも拠点性が崩壊し、地域のコミュニティも希薄化し、安全・安心の衰退への懸念を持っている。豊かな自然と文化、恵まれた教育環境のもと、子育て世代の若者に魅力を感じてもらおうような周辺地域の生活環境をどのようにつくっていくのか。	1点目は定住対策です。地域と連携したネットワークづくりにより、市民の皆さんとともに行動していきます。 2点目は地域応援隊の発足です。 3点目は地域の生活拠点を守る取り組みです。皆さんの暮らしを守る買い物や公共交通・防災・医療など広域で守る機能と地域で守る機能の役割分担を明確にし、地域拠点・生活拠点の促進をしていきます。
③ 若者の流出を防ぎ優れた人材の確保を吉舎町でどのようにつくっていくのか。	進学や就職で都会へ出た若者をいかにふるさとへ連れて帰るかが大きな課題です。現在、「ヤングライフおたより」で情報発信を進めています。また県内の大学を訪問し地元企業や就職のPRをしています。
④ 吉舎町は高齢化率が42%で75歳以上が4分の1以上を占めている。さらに私化、自分化の傾向によりコミュニティ性が希薄になっている。これらの厳しい状況で主体的にまちづくりに取り組む人材をどのように増やしていくのか。	定住対策を含め人口減少の緩和に取り組んでいますが、吉舎町でも歴史・文化を大事にし、まちづくりビジョンに沿って市も行政責任を果たしながら一緒に方向性を考えていきます。
⑤ 住民自治活動は自立自助という状況であるが住民には負担感が増している。まちづくりの推進の担い手になるには限界がある。行政の人的支援、財政支援が必要ではないか。	市民と行政の適切な役割分担、協働の在り方が、変化が激しい時代の中でますます問われていくと認識しています。行財政改革の中で社会の変化を的確につかんだ政策の選択と重点化の一つとして、市民の力を引き出し地域主役の地域づくりを推進するという項目を設けています。協働の在り方をどのように構築していくかが問われていますが、しっかりと協働できるような行政の職員の在り方が一

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【吉舎会場】

テーマ

(1) 10年後の吉舎町を見据えて

平成26年7月15日(火) 会場名 吉舎生涯学習センター

意見・要望	回 答
	つの視点になると思います。
<p>⑥ 地域応援隊が設置されるが、地域担当職員制度は地域と行政による参画と協働という相互実践につながっていく。職員が地域へ出てお互いに課題を共有し働くことにより政策を新しく創り出し市民満足度を高めていくのではないか。</p>	<p>地域の課題に正面から向き合い、地域と行政の連携と信頼関係を築きながら、これから10年の地域をともに考え創っていくという思いで地域応援隊を立ち上げます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>地域応援隊に関しては作木会場の②の回答と同じ。</p> </div>
<p>⑦ 学力調査の結果、全国平均、三次市平均、各校の平均の公表はどうなっているのか。</p>	<p>1月には市の学力到達度検査、4月には文部科学省の全国学力調査、6月には県の学力調査を実施しています。これらの結果は市のホームページや広報紙で公表しています。各学校の公表は人数が少なく個人が特定されるような場合は、注意しながら点数だけでなく子どもたちの優れている点や弱い点、改善点など学校だよりやホームページで公表しています。学校別に一覧表にして公表することはしていません。</p>
<p>⑧ 防災のメール発信について、市の危機管理課が発信することとなっているが、日曜・祝日・夜間は届いていない。備北地区消防組合の通信指令センターは24時間対応なので緊急時の発信基地をそこへ設置できないか。</p>	<p>持ち帰り検討します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>平成25年12月から開始した一斉メールは、気象情報や避難指示などを広く周知することを目的としています。災害が予測される場合、例えば大雨・洪水注意報が発令された時点から市職員が待機しますのでそこから発信します。</p> <p>火災発生時の消防団員への連絡は、備北地区消防組合から方面隊長に連絡し、そこから各団員へ出動の指示を出しています。火災発生時における消防団に対する一斉メールの配信にあたっては、情報提供と指示指令の区別を明確にして取り扱う必要があります。システムの機能も確認しながら、消防署と消防団も含めた中で協議していきます。</p> </div>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【吉舎会場】

テーマ

(1) 10年後の吉舎町を見据えて

平成26年7月15日(火) 会場名 吉舎生涯学習センター

意見・要望	回 答
<p>⑨ 合併後10年、地域応援隊を設置するといいいながらも地域の問題や改良などの要望がほとんど予算なしでカットされているように感じるがいかがか。</p>	<p>支所へ声を伝えていただきたいと思います。できることはできる、できない状況はそれをお返ししていくことで信頼関係を築いていきます。</p>
<p>⑩ 吉舎中学校区内の登下校の安全確保。 尾道松江線の部分開通により国道184号や国道につながる道路の交通量が増えている。児童・生徒にとって大変危険である。国道および通学路における安全対策を講じていただくようお願いする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下別れから吉舎中学校までの歩道が狭い。</li> <li>・八幡地区国道184号を自転車横断するときの見通しが悪い。</li> <li>・通学路の防犯灯の整備</li> </ul>	<p>児童・生徒にはルールを守った自転車の乗り方や歩き方をするよう校長会を通じて徹底しています。学校やPTA、市教委では登下校時の危険箇所等の安全確保について検証していきます。</p> <p>また、ハード面では国道の管理者である広島県、市の土木課、支所、教育委員会とが一体となり、三次警察署との調整をとりながら具体的に現地の確認や協議を進めていきます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>平成26年10月15日に広島県北部建設事務所長に要望し、次のとおり回答がありました。</p> <p>一般国道184号上下分れ交差点から吉舎中学校までの区間については、吉舎中学校にも近く、国道の両側に歩道を整備している。要望の側の歩道は幅員が狭いが、南側の歩道は幅員が広いので、こちらを利用するなど通学路の見直しを含めて検討していただくよう協議しました。</p> <p>八幡地区の一般国道184号については、曲線部で非常に見通しが悪い個所で、スピードを出して走行する車両が多いことを確認しました。自転車横断帯を世羅の直線側に移設する方向で対応していただくよう協議し、平成27年1月中には移設工事を実施するよう県から報告を受けました。</p> </div>
<p>⑪ 県の土砂災害の調査について安田、桧、川ノ内の3地区が対象になっている。これらの調査情報はどのように活用されるのか。</p>	<p>調査後、土砂災害の危険箇所（警戒区域・特別警戒区域）等を示したハザードマップを作成し地域に配布しますので、素案作成の段階と配布時に地域住民全員を対象としたワークショップと説明会を開催し、詳しく内容説明を行います。</p>
<p>⑫ 吉舎町田尻地区は過疎の地域ではあるが、最近若い家族が転</p>	<p>支所が現地を確認させていただきます。</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【吉舎会場】

テーマ

(1) 10年後の吉舎町を見据えて

平成26年7月15日(火) 会場名 吉舎生涯学習センター

意見・要望	回 答
<p>入ってきて子どもが増えた。周りの道を車がスピードを出して走るので子どもや高齢者にとって危険である。何か対策をとってほしい。</p>	<p>標識は公安委員会の管轄ですので要望するよう計画しますが、交通量が絶対的に少ないことなどから難しいのが現実です。 迅速で確実な対応策として地域で簡易な看板等を設置することについてもご検討いただきますようお願いします。</p>
<p>⑬ 吉舎町は平成27年度から音声告知放送になるということだが、無線放送は残すのか。地元説明会はいつごろどのようにするのか。</p>	<p>現在、本市では防災情報の伝達システムは防災無線、オフトーク、音声告知の3種類で行っていますが、老朽化や業者サービスの停止などにより音声告知放送を選択しました。無線放送は残しません。ご理解をいただきたいと思えます。 説明会は今年度、君田、三和、甲奴を予定しています。吉舎は来年度整備を予定していますので、説明会等は来年度行う予定です。</p>
<p>⑭ 木材バイオマスの利用計画があるのか。</p>	<p>再生エネルギーの見地から検討していくべきであると考えています。</p>
<p>⑮ 安田地区絶滅危惧種のダルマガエルが40匹から2,500匹までに増えた。また山野草について広島県のレッドデータブックにあるセツブンソウ、カザグルマやユキワリイチゲは九州や横浜方面から見物に来られる。この地域は県内沿岸部の花の北限であり北部の花の南限でもある。これらを保護するために地元で頑張っているが盗掘に大変苦慮している。野生生物の保護条例をつくってほしい。</p>	<p>現在、市の鳥にブッポウソウを追加したいと考えています。それらを包含した中で絶滅危惧の動物、植物を大切にしなければならぬと思っており、保護条例の制定を含め検討していきます。</p>
<p>⑯ 市役所の事務的ミスや丁寧でない対応などがたびたび発生している。職員は市民レベルの優しく正しい仕事をしてほしい。</p>	<p>大変ご迷惑をおかけしています。今後は職員の適切な対応について、さらに徹底していきます。</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【甲奴会場】

テーマ

- (1) 三次市総合計画4つの挑戦について (2) 特色あるまちづくりについて

平成26年7月16日(水) 会場名 甲奴老人福祉センター

意見・要望	回 答
<p>① 三次市総合計画にある人口減対策, 10年後の三次の姿, そして他市と比べての優位性について具体的に教えていただきたい。</p>	<p>本市の優位性は, 交通の結節点であることです。その優位性を生かした中で拠点性を維持向上させていくまちづくりをめざします。10年後を踏まえて, 人口減少を緩和させるという取り組みを今後も続け, 真正面から挑戦をする中で, 市民の幸せを実現するための取り組みを今後進めます。三次市総合計画の中に掲げているめざすまちの姿「しあわせを実感しながら, 住み続けたいまち～中山間地の未来を拓く拠点都市・三次～」を実現していくために, 今後10年, この総合計画のソフト事業を中心に皆さんの参加と行動によって, 市民の力, そしてまちづくりの力が最大限発揮できるように, 郷土のまちづくりに取り組みたいと思います。</p>
<p>② 三次市総合計画の中に「女性が働きやすく子育てができる環境日本一」をめざすとある。女性が働きやすい環境というのは具体的にどういうことを示しているのかを教えていただきたい。</p>	<p>仕事と家庭両立のための支援として, 保育サービスの充実や相談体制等, 現在, プロジェクトチームをつくって, 具体的にどんなことができるかについて対応策を考えています。また, 女性の働きやすい企業ということで, 企業の皆さんにも応援していただいて, 女性が働きやすい職場づくりを市としてもお願いをしていくなど, 支援の方法も含めて検討していきたいと思います。</p>
<p>③ グローバル化に伴う世界に通用する人材を育てることについての対策を教えてください。</p>	<p>ふるさと三次を愛し誇りに思うこと。夢を持ち, 学び, 考える力を持つこと。そして, 社会の一員として積極的に貢献する志を持った教育, そういう子ども像をめざして教育をしていきたいと考えます。具体的には, コアカリキュラムとオリジナルカリキュラムを考えて, 全市で取り組んでいきます。郷土を愛し, そして世界で通用するような子どもに育ててもらいたいということで, 小中一貫教育と高校の3校が提携し, 三次を支えてくれる, リードしてくれる子どもたちを一生懸命育てたいと考えています。</p>
<p>④ 三次市総合計画の中にある英語教育を日本一にするというのは, どういうことを考えているのか。また, 語学教育の支援</p>	<p>国際理解教育を行いたいと考えています。特に小中9年間の学習の中で, 様々な国際理解教育の活動を行うことを考えています。アメリカス市やカナダとの交</p>



会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【甲奴会場】

テーマ

- (1) 三次市総合計画4つの挑戦について (2) 特色あるまちづくりについて

平成26年7月16日(水) 会場名 甲奴老人福祉センター

意見・要望	回 答
<p>は、どのような施策を考えているのかを教えてください。</p>	<p>流という財産を、国際的に通用する子どもたちを育てるための一つの教材として、あるいは大切な宝物として活用できればと考えています。今年は、イングリッシュキャンプなども企画しています。</p>
<p>⑤ 情報通信技術は、10年後には相当変わってくるのではないかと思われる。情報ネットワークの活用を考えるうえで、専門部署が必要であると思う。その専門の部署が今あるのか、あるいはこれからつくられるのかを伺いたい。</p>	<p>本市は中山間地にありながら、市内全域をカバーできるケーブルテレビ事業で整備したインターネット環境があり、これがまちづくりや定住対策を進めるうえでも大きな強みと感じています。このインフラを大切に、市民が安心して活用できるよう取り組みます。また、今後の活用については、株式会社三次ケーブルビジョンと検討していきます。</p>
<p>⑥ 今年度をスタートとした三次市総合計画は、平成26年度はもう既に半年終わっている。PDCAのPの部分だと思いが、しっかり具体的な計画を立案してもらいたい。また、常に施策を考える場合に、ほかの市町村から見てどうだろうか、優位性があるかどうか、必ずこの視点は忘れないように立案していただきたい。</p>	<p>貴重なご提言をありがとうございました。 本市は、全国的な調査機関の調査結果(※)で住みよさは3番以内、年によっては1番という高い評価をいただいています。</p> <div data-bbox="1115 962 1800 1102" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>※(株)東洋経済新報社 「住みよさランキング2013」広島県内1位 「住みよさランキング2014」広島県内3位</p> </div> <p>さらに、日本一をめざしているものとして、子育て環境と健康があります。拠点性を生かし、一つひとつ充実したまちづくりを進めていきたいと思えます。</p>
<p>⑦ 昨年も申し上げましたが、高齢化率43%を超える甲奴町の健康づくりの拠点として、せっかくある温泉を活用したウォーキングプールを整備していただきたい。</p>	<p>温泉を生かした健康づくりの施設整備については、早期の実現に向けて、今年度は調査費をつけて取り組んでいます。皆さんにお願いしたいのは、施設をつくっていくための体制づくりと、将来にわたって利活用するという皆さんの強い思いです。一緒に努力しましょう。</p>
<p>⑧ いこいの森弘法山は、多くの集客がある。しかし、屋外トイ</p>	<p>尾道松江線全線開通を見据え、甲奴町として弘法山一帯をどう活用していくの</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【甲奴会場】

テーマ

- (1) 三次市総合計画4つの挑戦について (2) 特色あるまちづくりについて

平成26年7月16日(水) 会場名 甲奴老人福祉センター

意見・要望	回 答
<p>レがないことや、宿泊施設も簡易の水洗トイレであり、仮設トイレで対応している状況がある。甲奴インターが供用開始されると観光客も増える。浄化槽で対応できるトイレの改修をお願いしたい。</p>	<p>かの議論も踏まえて、宿泊施設のトイレ改修等について指定管理者、甲奴支所と連携して検討していきたいと思えます。</p>
<p>⑨ 道路網の整備について、県道の甲山甲奴上市線と吉舎油木線や梶田三良坂線の早期改良をお願いしたい。また、太郎丸吉舎線、宇賀矢野線、宇賀安田線など未改良区間がたくさん残っている。早期改良をお願いしたい。</p>	<p>主要地方道甲山甲奴上市線と同じく吉舎油木線の橋梁区間の早期整備については、広島県が昨年度測量調査を実施、今年度は詳細な設計を実施されます。また、JR西側鉄橋、桁下3.8mと表示されていますが、JRの鉄橋を保護するものの高さが実際の橋梁より低いため、橋桁等の高さを若干上げていただくように、広島県からJRと協議を進めていただいています。</p> <div data-bbox="1043 887 2063 1174" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>平成26年10月15日に広島県北部建設事務所に要望し、次のとおり回答がありました。</p> <p>今年度は、昨年度に行った西野交差点から大橋を含めた区間の予備設計を精査した上で、この区間の実施設計と大橋の予備設計を行っています。</p> <p>年度末には設計内容について地元説明を開催する予定です。</p> <p>JR小童川橋梁下のクリアランスについては、桁下高と制限高との差(余裕高)の緩和について、JRと協議を開始する予定です。</p> </div> <p>梶田三良坂線は、大掛谷地区で河川の付け替え工事を引き続き行います。今年度は延長約140mの河川の工事を予定しています。今年度の河川工事で河川部分の付け替え工事は終了します。そして、来年度から道路の拡幅に着手する予定です。</p> <p>県道太郎丸吉舎線は、地元の皆さんと協議をし、施工してきた待機所の設置については、平成24年度で完了しています。しかし、待避所間の距離が長い可能性があり、待避所が必要と考えられる場所があれば地元の皆さんと市とで協議を行</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【甲奴会場】

テーマ

- (1) 三次市総合計画4つの挑戦について (2) 特色あるまちづくりについて

平成26年7月16日(水) 会場名 甲奴老人福祉センター

意見・要望	回 答
	<p>いますので、土地所有者の方の了解などについてもご協力をいただきたいと思います。</p> <p>県道宇賀矢野線は、小童地区から府中市矢野方面への未改良区間について、延長約900mは道路幅員が3m以下と狭くて急勾配の箇所もあります。昨年度、待避所として、広島県で施工していただきましたが、車両の離合が困難な状況で、早期整備に向けて引き続き広島県に強く要望します。</p> <div data-bbox="1048 762 2065 1023" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>平成26年10月15日に広島県北部建設事務所長に要望し、次のとおり回答がありました。</p> <p>急峻な地形であり、全面的な改良には相当の事業費と期間を要することから、現在の財政状況では難しいと考えています。</p> <p>このため、待避所を2箇所整備して最小限の対応を図ることとしており、今年度既に用地取得を完了し、来年度から工事着手する予定です。</p> </div> <p>県道宇賀安田線は、品地区において広島県が現在整備中の延長約300mの区間について舗装工事を行い、今年度完成予定です。今回の改良工事をもって品地区の工事が一区切りとなると広島県から聞いていますが、世羅町境までの未改良区間約1.2kmについて、道路幅員が3m以下と狭くて、車両の離合が困難な状況です。未改良区間の早期整備について、引き続き広島県に強く要望します。</p> <div data-bbox="1048 1241 2065 1410" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>平成26年10月15日に広島県北部建設事務所長に要望し、次のとおり回答がありました。</p> <p>品地区道路改良工事は8月に完了し、バイパス区間の供用を開始しました。</p> </div>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【甲奴会場】

テーマ

- (1) 三次市総合計画4つの挑戦について (2) 特色あるまちづくりについて

平成26年7月16日(水) 会場名 甲奴老人福祉センター

意見・要望	回 答
	<p>世羅町境までの残区間 800mについては、急峻な地形であり、全面的な改良には相当の事業費と期間を要することから、現在の財政状況では難しいと考えています。</p> <p>このため、待避所の設置による最小限の対応について、世羅町を管轄する三原支所と協議を行います。</p>
<p>⑩ 平成24年度のがんばる地域・産業施設整備支援事業に応募したが、その提案内容についてしっかりと状況を把握して、十分な審査が行われたのか。丁寧な説明と真摯な検討をお願いしたい。</p>	<p>がんばる地域・産業施設整備支援事業については、申請者の思いとの間に少しミスマッチがあったのではないかと思います。行政としてもいかに制度を活用してもらうかを十分協議し、変えるべきものは変えていく、守るべきものは守っていくよう対応していきたいと思っています。</p>
<p>⑪ 尾道松江線全線開通に向けて、イベントを検討し、なんとか甲奴に降りてもらいたい。提案として、甲奴インターから宇賀交流センターの間にパフォーマンス書道の大作を表示したらいいのでは。住民自治組織と一緒に協力しながらやっていけばと考えるが、行政の協力がいると思っている。</p>	<p>書道パフォーマンスは、ぜひ継続していただきたい。尾道松江線全線開通においては、甲奴町の特色を生かし、甲奴町に行ってみようという状況をつくっていききたいし、支援をしていきたい。</p>
<p>⑫ 日彰館高校が創立120年を迎えた。今年は野球部も24年振りに2勝している。市長は「挑戦」というテーマを掲げているが、積極的に向き合っていてほしい。</p>	<p>広島県教育委員会は2学級とれない学校の統廃合の基本方針をもっており、日彰館高校も安閑としてられません。行政として中高一貫校の誘致もめざしていく中で、今ある日彰館高校・三次高校・青陵高校をどう守っていくか。皆さん、学校と一緒に頑張っていきましょう。</p>
<p>⑬ 高谷山に友人を案内したが汚い。市の農業委員会が中心となって、市職員、市議会議員と一緒に草刈りをする提案をしようと思っている。</p>	<p>高谷山については展望台やトイレ、駐車場等ここ数年整備してきました。道路は、待避所等も検討しています。</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【甲奴会場】

テーマ

- (1) 三次市総合計画4つの挑戦について (2) 特色あるまちづくりについて

平成26年7月16日(水) 会場名 甲奴老人福祉センター

意見・要望	回 答
<p>⑭ 市外局番からではなく、局番から市内通話ができるようにはできないか。</p>	<p>同じ市内でありながら市外局番を使わなければいけないということについて、市外局番がどのように決まっているのか、どこが責任を持ってそういうことをするのかということも確認をしながら要望していきたいと思います。</p>
<p>⑮ 予算化された事業費をもとに算出される新市まちづくり計画の進捗率は、南部のほうは非常に遅れが目立っている。新市まちづくり計画でめざすはずの地域の均衡ある発展について、どこに整合性を求めればいいのか。</p>	<p>各地域審議会において、未着手事業について協議、審議をいただいたところです。その中で、意見具申をしていただいた70事業、甲奴では16事業について、今後、事業を決定するというにしています。事業の決定は、事業の必要性、地域バランス等、さらなる精査が必要ということで、現在、庁内に事業検討委員会を設置しています。また、市長、副市長が現場をすべて見えています。現場を見ながら、財政状況も考慮しながら、事業を制御していきたいと考えています。財源については、合併特例債を有効活用し取り組んでいますのでご理解をお願いします。(合併特例債の有効期限の5年間延長)</p>
<p>⑯ 来年4月からの「地域医療・介護総合推進法」の施行に伴い、特養老人ホームに入所できなくなる要介護1、2の人は、三次市にどのくらいいるのか。一人暮らしの人への対応をどうやっていこうと考えているのか。</p>	<p>平成27年4月以降、新たに特養入所するのに要介護の1、2とか、程度が軽い人について、入れないのではないかという思いの中で、要介護2であってもどうしても特養に入所が必要な人については、市町村長として判断していける例外措置も考えます。本当に入所されなければいけない人については、個別に相談したいと思います。</p>
<p>⑰ 要支援1、2については、来年4月から市町村の事業となる。介護保険事業の中で取り組んでいただいていたことが、市町村の中で格差が出てくるのではないかと思う。事業を発展させていただき、三次市が一番よい支援ができるようになればと思う。</p>	<p>これまでの介護保険でできた内容と市町村に移管された内容とが差があるようなことがあってはなりません。今の水準以下にならないように、努力し、可能な限り充実するように対応したいと思っています。</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【川地会場】

テーマ

- (1) 総合計画における今後の取り組み
- (2) 防災対策等
- (3) 自治活動支援金のあり方
- (4) 安全な通学路の確保
- (5) 県道432不法使用者の取り締まり

平成26年7月18日(金) 会場名 川地コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>① 旧総合計画(平成18年～25年)について、どのように実行され、課題がどこまで残っているのか検証の内容を具体的に教えていただきたい。また、その検証結果が、新しい総合計画にどのように反映されているのか教えていただきたい。</p>	<p>市長が3代かわる中、実行してきた施策については、市政懇談会の資料の1ページの内容でご理解をいただきたいと思います。子育て支援、教育の充実、医療環境の充実を特に取り組んできました。検証については、第1次の三次市総合計画「みよし百年物語」の347項目について、ワーキングチームで一つひとつ検証し、内部評価、課長レベルでの幹事会、策定委員会でそれぞれ評価してきました。新しい総合計画においては、これらの検証・評価を踏まえた中で、市民まちづくり塾・市民アンケート・住民自治組織の皆さんとの意見交換会、総合計画審議会、最終的には市議会にも見ていただく中で検証し、取りまとめてきました。計画書の本編に詳しく説明させていただいていますが、こういった検証が今後の取り組みにつながっています。お時間をいただければ、説明にも伺わせていただきます。</p>
<p>② 総合計画の4つの挑戦のうち「市民の力を引き出し、地域づくりにともに取り組みます」について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. いつどこで誰がどのように進めるのか</li> <li>2. 若年層が10年、20年後の希望を持てるようにどのような働きかけをするのか</li> <li>3. 男女別に英才教育、エキスパート、専門家をどのように育成されるのか</li> <li>4. 地域応援隊の具体的な活動について</li> </ol>	<p>今年度、合併10周年を迎えますが、情報ネットワークの整備、道路、上下水道、生活基盤をはじめ様々な取り組みを行ってきました。今後は、人口減少・少子高齢社会に真正面から取り組んでいき、未来を切り拓いていこうとしています。その4つの施策の束が、「4つの挑戦」になります。</p> <p>その中で、広域圏における拠点性を維持向上させながら、特に若い世代が、男性・女性も含めて、安心して子どもを産み育てる環境づくりを行い、女性が働きながら子育てできる環境日本一をめざしていきます。そして、地域づくりへの参画の促進も図りながら、4つの挑戦を進めていきたいと思っています。</p> <p>現在4つのプロジェクトについて、職員がそれぞれ分かれて検討をしています。地域応援隊については、職員が地域へ出ていき、地域との対話を中心としながら</p>



会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【川地会場】

テーマ

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| (1) 総合計画における今後の取り組み  | (2) 防災対策等     |
| (3) 自治活動支援金のあり方      | (4) 安全な通学路の確保 |
| (5) 県道432不法使用者の取り締まり |               |

平成26年7月18日(金) 会場名 川地コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	<p>コミュニティでの関係をつくっていこうという姿勢です。後日、各住民自治組織の会長・事務局の皆さんと意見交換会を計画していますので、その中でのご意見等も反映させていただく予定です。イベントの支援が目的ではなく、お互いに力を合わせてふるさとを守り振興していく、または課題について一緒に考え、一緒に汗をかいて、地域の皆さんが明るい三次市になったと思える、そういうまちづくりをしていきたいと思えます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>地域応援隊に関しては作木会場の②の回答と同じ。</p> </div>
<p>③ 防災対策について、災害時における市と関係機関の連携について、災害弱者への対応をどうすべきか、民生委員との連携が不可欠ではないか、行政としての考え方を教えていただきたい。</p>	<p>各地域への情報連絡の基本的な考え方は、住民自治組織の事務局、自主防災組織の役員、消防団の分団の幹部の方々へ直接電話、または登録していただいている一斉メール・緊急メールにより情報提供させていただいています。要支援者の皆さんへの対応については、プライバシー保護の問題等があるので、民生委員の皆さんに協力もいただいて、情報を出してもいいかどうかの整理を行いました。概ね終了し、現在、障害のある方について整理しているところです。その整理が一定程度進めば、情報を提供させていただきながら具体的な取り組み・段取り等を相談させていただきたいと思えます。その際、民生委員の皆さんさんには、高齢者の見守り活動を日々していただいているので、必要に応じて連携を取りながら行っていきたいと思えます。</p>
<p>④ 三次市内の街路樹、公園の樹木の安全点検について、現在、安全点検を行っているのか、また、今後の安全点検・管理をど</p>	<p>街路樹は道路巡視、植栽管理を行う業務の中で点検を行っています。都市公園の樹木管理は、指定管理者において日常的に選定や枝打ちなどの業務と、危険な</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【川地会場】

テーマ

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| (1) 総合計画における今後の取り組み  | (2) 防災対策等     |
| (3) 自治活動支援金のあり方      | (4) 安全な通学路の確保 |
| (5) 県道432不法使用者の取り締まり |               |

平成26年7月18日(金) 会場名 川地コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>のように検討されているのか。もし、災害が発生したらどのように対応するのか、責任の所在をどうとらえているのか。</p>	<p>樹木を発見した場合にはその都度、指定管理者と市とで協議をして、枝打ちや伐採の処理を行っています。三原市で起きた公共施設内の樹木の倒木による事故に伴う対応として、職員で巡回し目視による倒木の危険がないか確認を行い、倒木の危険性がある樹木への対応については、樹木の生育状況に専門知識を持っている樹木医に診断してもらい、伐採処理をしました。樹木の倒木による事故を未然に防ぐためのパトロール、植栽管理の業務委託および指定管理の中で危険性のある樹木を発見した場合は速やかに対応していき、災害が発生しないように管理することが最も重要で、万が一発生した場合は、迅速に可能な限りの対応を行います。責任の所在は、基本的には公共施設の中に植えているものは、市が責任をもって対応します。また、花の里づくりによる美しいまちづくりの推進については、今後の植栽の計画の中で管理などについて検討をしていきます。</p>
<p>⑤ 川地地区では、過去に3人行方不明者が発生している。捜査の依頼をする際に、行方不明者のプライバシーの保護について、メンタルケア等どのように配慮されているか。 関連して、行方不明者、認知症等への対応として、GPSの活用、防犯カメラなどの設置対策等どのように考えられているか。市街地だけではなく、無人駅(上川立駅・志和地駅)などへの設置を行政として考えておられるか。</p>	<p>行方不明者の捜索の際のプライバシーの保護の問題については、ご家族の方から警察に捜索願が出され、消防団等に依頼があつて具体的に動きますが、その際には広報の実施や広報する内容についてご家族の承諾をいただきます。承諾をいただいたうえで広く皆さんに呼びかけさせていただき、人命を守ることを第一に考え対応しています。 防犯カメラは、昨年度犯罪の抑止という目的で市内に15基設置しています。この度提起していただいたGPS、防犯カメラ等について、今後十分に検討し、課題として受け止めさせていただきます。</p>
<p>⑥ 青色パトロール中の万が一のリスク対応として、モニター、</p>	<p>青色パトロール中のリスク対応としての、モニター、ドライブレコーダーの設</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【川地会場】

テーマ

- (1) 総合計画における今後の取り組み
- (2) 防災対策等
- (3) 自治活動支援金のあり方
- (4) 安全な通学路の確保
- (5) 県道432不法使用者の取り締まり

平成26年7月18日(金) 会場名 川地コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>ドライブレコーダーを設置していただきたいと思う。可能か不可能か教えていただきたい。</p>	<p>置についての回答は、持ち帰らせてください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>現在、青色回転灯パトロール活動については、青少年育成三次市民会議の方が、住民自治組織の車両や、民間の車両、一部には市の公用車を借り受けて、主体的に実施されています。市ではこの運営に対して補助金を交付し支援していますので、装備品の整備についてはこの中で計画的に行っていただければと考えます。</p> </div>
<p>⑦ 自治活動支援金のあり方について、市と自治会との事務のすみ分けを明確にし、それに対する交付金の配算基準を見直し、より効果的な予算の使用に努めなければいけないと思うがいかがか。</p>	<p>ほぼ同様の考えです。自治活動支援金のあり方については、総合計画の取り組みの方向にもありますが、市が取り組むこと、市民、住民自治組織、各事業者等が主体的な活動によって取り組むこと、また協働によって取り組むことがあり、それぞれが、行うことを意識して、お互いが果たす役割をよく考えて、協力し合い、補い合いながらともにまちづくりを進めていくことが大事です。交付金についても効果的になるよう考えていきたいと思ひます。</p>
<p>⑧ 地域応援隊について、職員の皆さんが地域に出られるときには、後方から支援をいただき、地域から声がかかった時には、休暇を取らず、堂々と仕事の中で進めていただきたい。また市の職員採用におかれても、三次市の地域を育てる職員を採用されることが、地域の活性化、三次市の活性化になると思う。</p>	<p>(ご意見・ご提案につき回答なし)</p>
<p>⑨ 川地小学校の屋内体育館の裏の傾斜地、グラウンド傾斜地、プール横の傾斜地の草刈りについて、足元が悪く、滑って転落</p>	<p>川地小学校の法面の草刈りについては、現場を確認済みですが、体育館の裏、給食センターの裏に大変高い崖があり、シルバー人材センターからも刈るのが危</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【川地会場】

テーマ

- (1) 総合計画における今後の取り組み
- (2) 防災対策等
- (3) 自治活動支援金のあり方
- (4) 安全な通学路の確保
- (5) 県道432不法使用者の取り締まり

平成26年7月18日(金) 会場名 川地コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>の危険度が非常に高く、怖い。悲惨な事故に遭わない、遭わせないためにも傾斜地の防草対策や草刈りをしなくていい対策を講じていただきたい。</p>	<p>険だと言われているので、防草ネットやコンクリートを吹きつけるなどの対応が必要だと思います。また、他の学校でも、法面が広くて危険な箇所がある場合は、対応を検討したいので、もうしばらくお待ちいただきたいと思います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>川地小学校屋内運動場裏から校舎正面入口の間の傾斜地について、隣接住民の方と協議し、防草シートの敷設を行いました。(9月実施)</p> </div>
<p>⑩ 農業問題について、現在、鳥獣被害に対して各地区で柵の設置等に取り組んでいるが、柵を設置しているにもかかわらず、イノシシ、鹿等の被害に悩まされている。柵の設置だけではなく、農地と山の境の木の伐採等により鳥獣被害を防ぐことができると思う。市とJA、共済組合、森林組合等と連携しながら対策等を考えていただきたい。</p>	<p>鳥獣対策については、集団ぐるみで餌付けをしないことが一番大事です。それでもダメな場合は、柵をすること。柵をしてもまだ被害が出るということになると、次は捕獲になるかと思えます。捕獲については、現場の被害状況を見させていただいて、駆除班をお願いをしています。先ほど提案がありました、農地の山の境(バッファゾーン)の木の伐採等をして、イノシシや鹿が来れなくする方法に取り組まれているところもあります。提案していただいた件について、森づくり事業等によって里山の整理ができればいいのではないかと考えられますので、JAや森林組合と連携しながら取り組みたいと思います。</p>
<p>⑪ 青河小学校の通学路の一つで、下青河橋から牛渕橋の方面に約200mの間の市道の道幅がとても狭く、路側帯がない状況である。また、その市道に沿って小似川が流れており、転落の危険や、増水時には市道が冠水することもあり、とても危険な状況である。市道の拡張とかさ上げ、歩道の整備、小似川側にガー</p>	<p>牛渕橋の上流については、2、3年前に維持工事がかさ上げをして対応しました。下流の部分等については、一番効果がある方法を見極める必要がありますので、周りの状況から道路を拡幅することが簡単にできるか、河川の断面との関係はどうか等、保護者の方、住民自治組織の方等、関係者が寄って現地が一番いい方法を確認・協議して対応したいと思います。</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【川地会場】

テーマ

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| (1) 総合計画における今後の取り組み  | (2) 防災対策等     |
| (3) 自治活動支援金のあり方      | (4) 安全な通学路の確保 |
| (5) 県道432不法使用者の取り締まり |               |

平成26年7月18日(金) 会場名 川地コミュニティセンター

意見・要望	回 答
ドレールの設置を要望し、安全に登校できる道に改修していただきたい。	
⑫ 小学校の木造校舎として使われていた、築100年以上になる上川立上会館を市から譲り受け、会議等で使用している。現在、改修しながら使用しているが、自分たちの力で改修等するには限界がきていると思う。上川立上自治会は80数軒の家で成り立っており、自己資金も自分たちで作らなければいけないと思うが、行政のバックアップはないか。緊急事態の時に小学校に避難するより会館に避難する方が安全な場合もあるかもしれないが、ぼろぼろの状況で建物を引き継いでいるので、建物自体は安全ではないという、理不尽な状況になっている。行政としてどのように考えておられるか、前向きな考えで対応していただきたい。	集会所の整備について、地域のコミュニティづくりを推進するために住民自治組織が自ら地域集会所の施設整備を行われる場合、「三次市地域集会所施設整備等事業補助金」という制度があります。新築される場合は2分の1の補助率で限度額が300万円です。このような制度を有効に使っていただければと思いますので、地域振興課まで相談をお願いします。
⑬ 岡山県で通学途中に事件が発生しているようだが、小学校の通学路に防犯カメラの設置を考えていただきたい。また、県道37号線の横断歩道の位置が悪く、霧などが出たときは車が来ているのが見えない。現地に来てみていただきたい。	防犯カメラの設置については、今後の検討とさせていただきたいと思います。それぞれの地域において子どもを見守り活動等をしていただいております。そのような人的な活動を含めて、総合的に子どもを守っていく取り組みが必要であり、今後さらに行政としても取り組みたいと思います。 広島三次線、主要地方道37号線の横断歩道の件ですが、場所を聞かせていただき、道路管理者の方で自由にできないところがあるので、三次警察署にも入っていただき、移設あるいは更新等について協議させていただきたいと思います。

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【川地会場】

テーマ

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| (1) 総合計画における今後の取り組み  | (2) 防災対策等     |
| (3) 自治活動支援金のあり方      | (4) 安全な通学路の確保 |
| (5) 県道432不法使用者の取り締まり |               |

平成26年7月18日(金) 会場名 川地コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	<p>また、以前からいただいていた、信号機の要望については、信号機をつけるのは難しいので、一旦停止の標識を三次警察署の方で高輝度の見やすいものに変えてもらったり、広島県では、県道主要地方道の路面上に「この先交差点あり」などの注意喚起を促す路面標示をしていただいたり、市では、市道から出てくるところの「一旦停止」・「とまれ」のマークを除いた部分に黄色い注意喚起を促すカラー舗装をするなど、広島県、市、三次警察署の3者でセットになって、それぞれができることを行い、少しでも地域の皆さんの安全確保に役立つよう取り組んでいます。</p>
<p>⑭ 南部道路の第1期工事が25年度末に酒屋まで開通する予定だったが、工事ができていない。農業交流施設ができて、農産物を持っていくのに大回りになる場合もあるので、将来の計画を教えていただきたい。また、江府三次線の高規格道路の建設計画の進捗状況を伺いたい。</p>	<p>南部道路については、残すところわずかな距離を広島県北部農林水産事務所が全力を挙げて取り組まれています。広島県にも入っていただいて、南部農道促進期成同盟会の組織を立ち上げて、1日も早く完成するよう努力しますのでご了承をいただきたいと思います。江府三次線の高規格道路はあまり前へ進んではいませんが、止まってはなりません。広島県、国の負担等いろいろな状況の中で少しずつ進んでいますので、ご理解をいただきたいと思います。</p>



## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【十日市会場】

### テーマ

- (1) 太陽光発電の設置
- (2) 市道, 上水道の整備計画
- (3) 出合いの広場～やすらぎの広場の北溝川沿いへの防犯灯(街灯)の設置
- (4) 小規模農家に対する対策

平成26年7月22日(火) 会場名 十日市コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>① 十日市コミュニティセンター(十日市きんさいセンター)に太陽光発電を設置してほしい。十日市コミュニティセンター建設経過の中で、環境、エコの視点から、平成22年1月に地元として太陽光発電設置の要望をしたが見送られた。そのときの回答は、消費電力量を発電できる見込みがない、建物が大き過ぎ初期投資がかかり過ぎる、ただし、屋上に将来必要な設置スペースを確保しておくというものだった。</p> <p>市は環境基本計画の推進や現状の環境問題に対処するため、三次市福祉保健センター(隣接の市立図書館中央館)やみよしまちづくりセンターに太陽光発電を設置し、二酸化炭素削減効果の数値もホームページに掲載している。また、新庁舎の設計コンセプトには、太陽光発電パネルなど自然エネルギーを有効活用し、庁舎から発生する環境負荷を低減するとあり、実際に太陽光発電が設置される。</p> <p>庄原市や安芸高田市では、民間企業と提携して、市の施設に太陽光パネルを設置しようとしている。三次市は県北のリーディング都市として、さらに研究し、民間のいいところを活用しながら、早急に取り組んでいただきたい。特に、安芸高田市は、市内の全公共施設に設置するとのことなので、見本にしていきたい。</p>	<p>新しい三次市総合計画においても、再生可能な自然エネルギーの活用を省エネルギーの推進とともに進めていくこととしています。</p> <p>当初は、設備投資費用に対しての効果が低いことから、太陽光発電の設置を見送り、現在に至っています。室外への配管等は当初の建築時に整備していますし、できるだけ早い時期に太陽光発電の設備を設置しなければならないと思っています。今後、市有施設への整備の優先順位等も考えながら、またより有利な国・県等の新たな補助制度の創設を待っている状況です。三次市福祉保健センターも、建設当時、緊急経済対策や、特別な交付金を活用して設置しています。</p> <p>現在、個人の家屋への設置に対して補助を行っていますが、民間によるメガソーラーも市内各地で大きな施設が完成しています。単に十日市コミュニティセンターへの設置ということだけではなく、市内全域の公共施設における太陽光発電をどうするか、再生エネルギーをどうするかについて、再生エネルギーの計画を定め、計画的に進めていきたいと考えています。また、駅周辺の整備に数10億円という投資をしている最中であり、市民ホールや新庁舎の建設も行っており、今年度で大きな山を越えます。ご意見をいただいたことも含めて、じっくりと腰を据えて計画を立てながら進め、できるだけ早い時期にご期待に応えたいと思っています。</p> <p>民間企業との提携については、20年間民間企業が公共施設の屋根を使用するというので、いい面といろいろな障害が出る面がありますので、将来予想を立てながら進めていきたいと思っています。新庁舎については、補助事業の採択を受け</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【十日市会場】

### テーマ

- (1) 太陽光発電の設置
- (2) 市道，上水道の整備計画
- (3) 出会いの広場～やすらぎの広場の北溝川沿いへの防犯灯（街灯）の設置
- (4) 小規模農家に対する対策

平成26年7月22日（火） 会場名 十日市コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>② 出会いの広場からやすらぎ広場までの北溝川沿いに防犯灯を設置してほしい。現在，出会いの広場からやすらぎ広場までの北溝川沿いには防犯灯が一灯も設置されておらず，非常に暗い。特に，小・中学生，高校生の通学や市民の散歩などで，防犯上不安であり危険であるという声が多い。</p> <p>また，三川合流部周辺河川環境整備計画（平成22年3月）では，北溝川周辺に街灯を設置するという市民のビジョンが絵と文字で表された。さらには，北溝川周辺は公共性が大変高く，町民，市民の憩いの場になっており，両公園は市が管理する都市整備公園でもある。特に，十日市住民は都市計画事業の財源となる都市計画税を負担しており，土地区画整理，街路整備，下水道整備および公園緑地事業などを行うことができる。事件・事故が起きてからでは遅いので，都市計画を定めて街路灯の整備をしていただきたい。</p>	<p>ていることもあり，重点的に進めています。一年一年，環境が大きく変化する中で，コストダウンを図りながら，再生エネルギーの活用を進めていきたいと思っています。</p> <p>平成22年度に策定した三川合流部周辺の河川環境整備計画の策定作業の中で，将来イメージとして，北溝川に街灯が整備され，ウォーキングなどいろいろな活用が行われている様子を絵にして発表していただきました。その後，最終的に決定した計画の中で，散策道の整備として，北溝川の整備が進められることになりました。具体的には，広島県が管理する管理河川ですので，今まで広島県に親水護岸の整備，小歩道を含めた小公道の整備等を行っていただいています。広島県へも，こうした整備の一環で，防犯灯等の整備ができないか相談しましたが，河川管理者としては，河川管理に直接つながるものを整備するのが基本方針で，あとは通りを管理する三次市で対応を検討してほしいとのことでした。</p> <p>公園から公園を結ぶ通りは，十日市住民だけでなく，いろいろな方が多目的に通行されていることを十分承知しています。現時点で具体的な計画はありませんが，元々この三川合流部のにぎわいをつくるための計画ですから，まずは「かわまちづくり懇話会」などにおいて検討する必要があると思っています。</p> <p>十日市地域においては，現在，市の基幹プロジェクトである三次駅周辺整備事業の仕上げの年ですので，この事業をしっかりと確実に実施することが市の重要な使命だと思っています。その上で，過去にご意見をいただいた若宮公園や出会いの広場等の仮設ステージの整備などを含め，住民自治組織を中心とした十日市</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【十日市会場】

### テーマ

- (1) 太陽光発電の設置
- (2) 市道, 上水道の整備計画
- (3) 出会いの広場～やすらぎの広場の北溝川沿いへの防犯灯(街灯)の設置
- (4) 小規模農家に対する対策

平成26年7月22日(火) 会場名 十日市コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	<p>のまちづくりや中心市街地のあり方について、また、十日市地域の「まちづくりビジョン」の中でも、「北溝川の活用とふれあい」について示されていますので、今後のまちづくりについても、一緒に考えさせていただきたいと思えます。</p> <p>都市計画税については、都市計画区域内で用途を決めている区域の方に納付をお願いしているものです。区域内の都市公園や街路などの整備に費用を要したもののについて、国に起債という借金をした場合に、その償還の財源として都市計画税を充てています。下水道の整備やいろいろな市街地独自のインフラ整備に活用していますので、この点についてもご理解をお願いします。</p>
<p>③ 酒屋地区は人口が増加しており、農地も宅地化が進み、交通量も増加している。</p> <p>酒河38号線門田地区は、ピオーネ団地につながる道路で、交通量が増えている。この拡幅・改良とあわせて市道206号線上本谷地区の市道の拡幅・改良をお願いしたい。</p> <p>また、県道三次インター線の下本谷地区は、一昨年からは歩道にある溝ぶたに児童が足を挟んで転倒したり、けがをしたりという事案が発生している。一部は改修が済んでいるが、残りを早急をお願いしたい。</p> <p>それから、三次インターチェンジの入り口の交差点は、片方に雨水がたまって、大型車両が児童に水を散らして走り去るといった事案が起きている。また、片方の交差点には、歩道に歩行</p>	<p>市道酒河38号線は、森林組合から生協ひろしま、中国道のガード下を通過して国道375号へ上がる区間だと思えます。また、市道丸畠砂脇線だと思えますが、これは昔の農免道から中電工、中国道のガード下、中国電力を通過して、ヤマサの本部がある交差点へ抜ける場所だと思えます。これらは、どちらも歩道がない片側1車線の道路です。近隣の住宅等の増加とともに、子どもも増えて、通学の面等で大変負担をかけています。これについては、歩道等の整備を含めた道路の拡幅を、今後の検討課題にさせていただきたいと考えています。とりわけ児童・生徒の安全確保のために、緊急な課題として、当面の処置について住民自治組織を含めて、現場を確認しながら協議したいと思えます。</p> <p>県道三次インター線については、新しいコンビニエンスストアができた交差点から三次インターチェンジの入り口の歩道部分だと思えます。こちらは、側溝のコンクリートふたの間にすき間があることで、足がつかかるといった危険があ</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【十日市会場】

### テーマ

- (1) 太陽光発電の設置
- (2) 市道，上水道の整備計画
- (3) 出合いの広場～やすらぎの広場の北溝川沿いへの防犯灯（街灯）の設置
- (4) 小規模農家に対する対策

平成26年7月22日（火） 会場名 十日市コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>者の停止線が明記されていないため，児童が車道のほうへ出て信号待ちをすることがある。歩行者の停止線が明示されれば、より安全に登下校ができるのではないかと。</p> <p>また，県道三次インター線，酒河小学校の上の交差点は，非常に道路構造が悪く，ガードレールにトラックが再三衝突したり，積み荷を転倒，転落させたりという事案が発生している。路面をしっかりと確認していただき，県とも調整しながら道路の改修をしていただきたい。</p>	<p>りました。以前，鉄板等で穴埋めをした経緯もあります。今後も，こうした危険箇所は，早急に対応するように考えていますので，ご協力をお願いします。</p> <p>三次インターチェンジの入り口部分については，横断歩道も消えかかっており，車の往来が多い中で危険な状態になっています。停止線を含めて，三次警察署と一緒に道路安全対策を検討します。</p> <p>路面の水たまりについては，もとの農協側から交差点までは三次市の管理，交差点から神杉方面は県の管理です。荒天時を中心に現地を確認し，警察，道路管理者で必要な対応を検討したいと思います。</p> <p>最後に，県道三次インター線の昔の農免道と交差する末元地区ですが，確かに交通量，特に大型車両が多く通るため，路面等の傷みが激しいところです。県との協議も必要ですが，今年度，緊急度の高い場所から順次整備したいと考えています。</p>
<p>④ 三次インターチェンジから下本谷交差点までの下本谷地区には，住宅が徐々に増えている。この地区の上水道の管は，おそらく径 50mmのものが通っているようだが，これでは将来的に水量が足りなくなると思われる。今後の上水道の整備計画を伺う。</p>	<p>現在，水道課では，水道未普及地域（川西地区など）を優先して事業を実施しています。下本谷地区の県道沿いの上水道の整備について，ご要望の三次インター入口交差点から酒屋交差点までの区域は，現在，住宅の多い県道に並行して走る北側の市道に，径 75mmの水道管を既に布設しています。そのため，新たに県道三次インター線に布設する計画はありません。まだ水道がない地域の普及に力を入れているということで，ご理解をお願いします。</p>
<p>⑤ 昨年も話したが，市道の除草作業について，元の農免道は，地元の常会が草を刈って，まだ日が経たないうちに業者が刈る</p>	<p>昨年も同様の質問をいただき，すぐ持ち帰って土木課で委託の発注等を確認し，その後の対応を見直したところです。</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【十日市会場】

### テーマ

- (1) 太陽光発電の設置
- (2) 市道，上水道の整備計画
- (3) 出合いの広場～やすらぎの広場の北溝川沿いへの防犯灯（街灯）の設置
- (4) 小規模農家に対する対策

平成26年7月22日（火） 会場名 十日市コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>ということ今年もされた。もう少し地元と調整をしながらやっていただきたい。また、業者がいつ入るから、地元はいつ刈ってください、というような調整が必要ではないかと思う。それが無い場合こういうことが発生する。税金の無駄遣いになるので、もう少し真剣に業者の指導、業者と自治会との調整をお願いしたい。</p>	<p>しかしながら、また同様の事態が発生したとのことで、地元の方が一生懸命に世話をいただいている中で、あってはならないことです。また、市の予算は、有効かつ効率的に使うのが大原則ですので、至急持ち帰って事実確認をし、どういう理由があったのかを、住民自治組織へ回答させていただきます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>市道西酒屋仁賀線の除草実施にあたっては、除草報償費制度による地元常会の除草と重ならないよう、実施前の6月16日に酒屋地区自治会連合会と除草受注業者、市により除草箇所、時期について協議のうえ行いました。</p> <p>また、2回目の歩道部除草等についても8月18日に3者協議により実施しました。</p> </div>
<p>⑥ 小規模農家に対する対策については、国の農業政策が、大規模農家・農業へと大きく転換されてきており、TPP交渉への危機感も感じられない。圃場整備もされていないため、このままでは、農地を集積できない小規模農家がつぶされていく。これによって、農地は荒廃し、災害発生の危険や鳥獣被害が増大するとともに、豊かな自然が失われ、その結果、集落の消滅への道を歩むことになりかねない。</p> <p>三次市の農地は、大半が高齢就農者で小規模農家が支えている。これを支援する対策として、中山間地域等直接支払制度や、新しく創設された日本型直接支払制度があるが、農業者の高齢</p>	<p>農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や担い手不足、あるいは耕作放棄地の合理化等の構造的な問題とTPP交渉の問題など、特に中山間地域において、大変厳しい状況にあります。</p> <p>農業あるいは農地は、食料生産はもちろん、それ以外に防災や環境保全、文化の継承など、多面的な機能を有しています。多面的機能の維持や発揮、地域活動や営農活動に対する国の支援策として、中山間地域等直接支払制度や日本型直接支払制度等がありますので、まずはこのような国の制度を有効活用していくことが必要です。事務手続きや作業が高齢化等で難しい場合、事務や作業の一部を第三者に委託することも可能です。認定農業者や法人、その連携も一つの方法として踏まえながら、集落としての将来展望を話し合ってください。</p>



## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【十日市会場】

### テーマ

- (1) 太陽光発電の設置
- (2) 市道，上水道の整備計画
- (3) 出合いの広場～やすらぎの広場の北溝川沿いへの防犯灯（街灯）の設置
- (4) 小規模農家に対する対策

平成26年7月22日（火） 会場名 十日市コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>化が進んで、制度の申請や報告，その他事務ができなくなり，制度を活用できない地域が増えている。高齢就農者の働く意欲，生きがいも衰退して，働かないため不健康になり，医療費の増加にもつながる。これも財政を圧迫することになる。新しい総合計画の中で，「仕事づくり」の柱があり，その中に農林畜産業についての計画があるが，これらは小規模農家に対する政策が示されないと実現できない。高齢就農者の健康や生きがいを守って，あるいは暮らしを守る，集落を守る，国土を守っていく，こういう視点からの対策を伺う。</p>	<p>市としても，市や県，JAで構成する「三次市農業振興会議」により，集落の皆さんと一緒に検討していきたいと考えています。農業を守る取り組み，特に中山間地域では高齢化が進み，産業振興という意味だけではなく，地域や集落を守る，長年そこで暮らす人の生きがいや健康維持の意味も含め，大規模化やビジネス化という農業政策だけでは済まされない，地域の大きな課題になっていると認識しています。広島県も国に対して小規模農家への支援を求め続けていますし，三次市としても，国に対して様々な機会に通告や要請などを継続していきたいと考えています。</p> <p>なお，中山間地域等直接支払制度の対象にならない地域への三次市独自の新制度として，農村環境保全事業などの様々な事業がありますので，詳しくは，農政課へお問い合わせください。</p>
<p>⑦ 三次市では，住民自治活動の更なる推進に，「地域応援隊」の結成をめざしており，大変期待をしている。</p> <p>酒河地区では，昨年度から，地域に在住する広島県の職員の応援を受けて，獣害対策研修を行っている。鳥獣害に負けない田畑と酒屋地域づくりをめざして2週間に1回の割合で，土・日曜日に，1年間の連続講座と実習を行ってもらっている。専門知識を持つ2人の県職員は，広島市と福山市に勤務されているが，地域の支援になればと強い信念を持って，それぞれの人脈を活用して精力的に取り組まれている。両人への敬意を表し，</p>	<p>(事例紹介につき回答なし)</p>



## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【十日市会場】

### テーマ

- (1) 太陽光発電の設置
- (2) 市道，上水道の整備計画
- (3) 出会いの広場～やすらぎの広場の北溝川沿いへの防犯灯（街灯）の設置
- (4) 小規模農家に対する対策

平成26年7月22日（火） 会場名 十日市コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>こうした取り組みが，何か市政のヒントになるかと思ひ紹介した。</p>	
<p>⑧ 市政懇談会で，毎年いろいろな意見が出される。その要望や意見がすべて現実になるとは限らないが，少なくとも住民から出された意見や要望は，何らかの検討・経過や結果を，市民にしっかり，わかりやすく説明してほしい。一昨年，胡子橋から西三次駅を過ぎるあたりの溝ぶたがについておらず，場所によっては子どもの背丈より深い溝が放置されていると意見を述べた。その後，1か所対応されたので，すべて対応されるのかと思っていたが，実はJR西日本が踏切の基盤の調整員が落ちないためにつくったものであった。</p> <p>いろいろなところで，いろいろな要望をしているので，何らかの報告等を，自治会や住民自治組織等へ話をつないでほしい。</p> <p>市政懇談会の総括を見える化することは，非常にいいことである。市政懇談会が終了した後，市の広報紙等でそのまとめが掲載されるが，各地区でこういう意見が出た，これについてはこういうふうに対応する予定である，というような，市民にわかりやすい広報活動をお願いしたい。</p>	<p>意見・要望等への回答は，発言された当事者に直接お返しする場合がありますし，住民自治組織へお返しする場合があります。中には，お返しできていないものがあるというのが現実であり，何らかの形で「見える化」をすることを検討して行きたいと思ひます。</p> <p>現在，12会場プラス7会場の19会場を，市政懇談会または車座で回らせていただいています。その趣旨は，大きな問題も小さい問題も含めて，市民の皆さんの率直な意見や困っておられる状況を聞かせていただくことです。持ち帰った記録をもとに，今できること，次の補正予算までに間に合うこと，今年度途中で何とかすること，さらには年度を超えてでも何とかすること，というような分類を行い，それぞれの住民自治組織へお返しし，会長さんを中心にいろいろと協議をさせてもらう方法が一番わかりやすいと考えています。</p>
<p>⑨ 防犯協会と警察の生活安全課，自治会の環境安全部とタイアップして，十日市地域の極めて防犯上好ましくないところをチ</p>	<p>地域のこうした取り組みに心から敬意を表します。その結果については，しっかりと情報共有をさせていただきたいと思ひます。</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【十日市会場】

### テーマ

- (1) 太陽光発電の設置
- (2) 市道，上水道の整備計画
- (3) 出合いの広場～やすらぎの広場の北溝川沿いへの防犯灯（街灯）の設置
- (4) 小規模農家に対する対策

平成26年7月22日（火） 会場名 十日市コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>チェックしている。先日，第1回目を行い，これからあと3回に分けて行う予定である。北溝川の景観という面での見方もあるが，非常に暗く，防犯上極めて危ないところがあった。これから寒い時期になり日照時間が短くなると，子どもたちが非常に暗い道を通って帰宅することになる。特に，三江線のガード下あたりの暗さは非常に問題であり，ぜひ何らかの処置をお願いしたい。この調査結果を基に，担当部署にしっかり対応してもらおうよう，改めて要望に行く。</p>	<p>ご存じのように，本市では，地域の方が中心になって防犯灯を設置したり，交換されることに対する補助制度がありますが，あくまでも地域の方々が主体でやっていただくことへの補助です。防犯灯ということで，どこまで対応できるか検討させていただく必要があると思います。いずれにしても，こうした地域での取り組みの中で，特にここが危険である，といったようなことがあれば，また改めて協議させていただき，何ができるか考えていきたいと思っています。</p>
<p>⑩ 十日市地区は，常会加入率が60%で，常会が崩壊しかかっている。防犯灯の電灯負担は常会が負担していることもあり，現状を何とかしなくてはいけないと思っている。行政には，新しく転入する方に，常会への加入を強制することはできないと思うが，これについての配慮をお願いしたい。</p> <p>例えば，転入者に常会長の名前を伝え，ここにはこういう世話人がいる，というような情報を提供し，常会加入の促進のお手伝いをお願いしたい。お手伝いというより，むしろ前線に立ってやってもらわなければならないと思う。</p>	<p>常会の崩壊が市街地の人口密集地でも起き始め，周辺地域でも戸数の減少により常会が崩壊していく中で，これからの地域をどう守るか，市民の皆さんの力でどう守っていくかが，大変大きな課題だと思っています。</p> <p>転入時の対応については，個人情報のあることと，できることとできないことがありますので，一律での対応は難しい面があります。これについては，住民自治組織の会長さんや役員さんと，どういう形がとれるか，合法的にとれるか，いろいろと知恵を出して検討したいと思っています。</p> <p>市の窓口で受け付ける転入は，市内全域のものを受けます。各地区の常会の加入率の実態を把握していないこともあり，十日市地区に転入する方だけに，そういう対応ができるかどうかという部分もありますので，今後の検討課題とさせていただきます。</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【十日市会場】

### テーマ

- (1) 太陽光発電の設置
- (2) 市道，上水道の整備計画
- (3) 出合いの広場～やすらぎの広場の北溝川沿いへの防犯灯（街灯）の設置
- (4) 小規模農家に対する対策

平成26年7月22日（火） 会場名 十日市コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>常会加入に対して強制力を持つことは難しいですが、現在、転入者に対して「ようこそ！みよしへ」という各住民自治組織の連絡先等の案内を配布しています。常会加入等の相談については各住民自治組織へお問い合わせいただくようお願いしています。</p> </div>
<p>⑩ 十日市小・中学校のPTA役員会で、重点要望書についてと同じ意見があった。例えば、保護者から通学路の危険箇所などについての要望を出し、PTA連合会や教育委員会で検討され、工事等をしていただいている。予算の都合もあり、繰り越しになっている事例が多々あり、すべてが解決済みではないと聞いている。</p> <p>また、校長、教頭が転任され、PTAの会長や役員も替わっていくと、要望事項の状況がはっきりしなくなってくる。例えば、十日市小学校では、寺側の高いフェンスが数年前から壊れて非常に危ないという要望をしているが、未だに何の処置もされていない。保護者としても、PTAとしても、まず危ない箇所を撤去してもらおうほうがいいと考えている。予算の問題があるとされるが、危ないところは一日も早く手だてをされない、けがをしてからでは遅い。</p> <p>この要望は、今年度の要望書に挙げさせていただく。過去の</p>	<p>各学校、各P常会加入に対して強制力を持つことは難しいですが、現在、転入者に対しTAからの要望は、PTA連合会を通じて要望書が出され、昨年度も、予算編成時期の2月に検討した内容を回答しています。検討した結果、すぐできるもの、予算が確保できそうなもの、当面検討していくものと、緊急度も判断して対応しています。</p> <p>具体的に、十日市小学校のフェンスについてのご指摘がありましたが、これについて、どういう対応をしているか、持ち帰って確認します。また、緊急性が高く、すぐに修繕が必要なものは、すぐに学校長から教育委員会へ直接要望を出してもらい、予算確保も含めて対応できるようにしています。その点について、フェンスの件も含め、学校を通じてしっかり確認させていただきます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>かねてから要望のあった、西側フェンスについては、本年度において改修します。ご指摘の東側フェンス（寺側）について改修の必要性を確認しますので、その時期等について学校と協議をします。</p> </div>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【十日市会場】

### テーマ

- (1) 太陽光発電の設置
- (2) 市道，上水道の整備計画
- (3) 出合いの広場～やすらぎの広場の北溝川沿いへの防犯灯（街灯）の設置
- (4) 小規模農家に対する対策

平成26年7月22日（火） 会場名 十日市コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>要望事項も繰り越しにならないように，途中経過や予定を返答されれば，校長や教頭も安心して説明ができる。現状では，市の対策を保護者に説明できない。各PTAへの返答を，状況説明も含めてお願いしたい。</p>	
<p>⑫ 駅前が非常に変わっており，わくわくするような町になるのではないかと期待している。</p> <p>先般，交通観光（情報発信）センターの駐輪場へ行ってみると，タイヤをレールに入れる駐輪方式で，上段，下段交互に自転車を入れるようになっているが，上段には自転車が入っていなかった。ハンドル同士が当たって，真ん中には自転車が入らない状態になっている。</p> <p>また，交通観光センターの裏にある障害者用の通路については，通常手すりは丸いものが多いと思うが，平面の手すり非常に持ちにくかった。冬になって雪が降ったら誰が管理するのか，凍結したら誰が管理するのか，本当に使いやすいと言えるのかと疑問を感じた。</p> <p>せっかく整備するのだから，身体障害者の会やいろいろな方と話し合い，誰にも優しく魅力的な設備にしていきたい。安くていいものを，喜ばれるものをつくっていただきたい。</p>	<p>駅の駐輪場について，状況も踏まえて説明させていただきます。</p> <p>5月の終わりに2つの駐輪場を整備し，1つは，駅の東側に，自転車が96台，バイクは10台程度が駐輪できるものです。先ほど言われた，駅の西側，十日市コミュニティセンターの隣のものは，自転車が122台とバイクは10台を駐輪できるものです。どちらもレールへはめるラック式で，東側のものは前輪だけをレールにはめるものですが，西側のものは前輪・後輪ともレールにはめる形式で，上下に段差ができる構造になっています。</p> <p>1個飛ばしでは止めやすいが，その間へ止めたり，高い位置へは止めるのが大変だというご意見をいただき，設計間違いがないか確認したところ，レールとレールの間隔が280mmで規定どおりでした。しかし，間違いなく間へは止めにくい状況です。</p> <p>また，利用の実態として，西側は昼間の利用がかなり多く，学生を含めて，十日市コミュニティセンターの利用者などが駐輪されているようです。逆に，東側は夜間の利用が多い状況です。おそらく三次高校の学生が多いのではないかと思います。</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【十日市会場】

テーマ

- (1) 太陽光発電の設置
- (2) 市道, 上水道の整備計画
- (3) 出会いの広場～やすらぎの広場の北溝川沿いへの防犯灯(街灯)の設置
- (4) 小規模農家に対する対策

平成26年7月22日(火) 会場名 十日市コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	<p>昨年の11月に、駅の駐輪場を解体して十日市コミュニティセンターの通路へ止めていただいたときは、約100台が止まっておりました。現在の駐輪場を2つ合わせると、それ以上の台数が止まっており、今まで三次バスセンターの有料駐輪場に止めていた方が、こちらへ流れているのが現状だと思います。そういった面で、利用者にご不便をかけているのが実態です。</p> <p>現在、西側の駐輪場には、20台程度の放置自転車があると思われるため、先週、「放置自転車ではありませんか」という仮のタグ(輪っか)をハンドルにつけています。今日も、まだ20数台にタグがついていましたので、来週にも撤去の案内をし、8月に入ったら、持ち主の申し出がない自転車を別の場所へ保管し、スムーズに利用できるような環境づくりに努めます。</p> <p>交通観光センターのスロープについては、特に冬場の状況を把握し、対応したいと思います。</p>
<p>⑬ 今日は7月22日、「スワンスワン(吸わん吸わん)の日」ということで、公共施設等全面禁煙の取り組みについて伺う。</p> <p>昨年12月の市議会定例会で、議員の質問に対し、新庁舎で分煙化を考えているという話があった。これについて、特命プロジェクト推進部長、副市長、市長も、健康増進の立場から喫煙施設をつくる気はないと力強く発言された。しかし、5月の新庁舎建設検討委員会の際に、特命プロジェクト推進部長から、屋上に屋根つきの喫煙設備をつけようと考えているとの発言が</p>	<p>庁舎も十日市コミュニティセンターもですが、確かに喫煙される方がいますし、禁煙を強く求める方もいますので、非常に悩んでいるところです。</p> <p>職員は勤務中は禁煙ですが、すでに取り壊した旧庁舎では屋上に雨がよけられる程度の簡単な屋根をつくっていましたが、東館でも休憩中は屋上やバルコニーで吸うことを認めています。</p> <p>そういった中で、新庁舎は、今の方向とすれば、現状のままで行かざるを得ないのではないかとの方針で、最終の調整をしているところです。確かに、健康増進計画の中では、公共施設のめざすところは全面禁煙です。禁煙、喫煙、分煙</p>



## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【十日市会場】

### テーマ

- (1) 太陽光発電の設置
- (2) 市道, 上水道の整備計画
- (3) 出会いの広場～やすらぎの広場の北溝川沿いへの防犯灯(街灯)の設置
- (4) 小規模農家に対する対策

平成26年7月22日(火) 会場名 十日市コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>あったと聞いた。なぜ、このように急に考えが変わったのか。</p> <p>また、ときどき議会の傍聴に伺うが、去年の10月ごろまでは、休憩時間に隣の生涯学習センターの入り口付近で、多くの方がにぎやかにたばこを吸っていた。その後、ある女性議員がやめてほしいと言われたこともあってか、現在はそういう姿は見えなくなったような気がする。</p> <p>ただし、布野支所の横の入り口付近では、多くの喫煙者が、休憩時間ににぎやかにたむろしている。人数制限はできないものか、また、灰皿を撤去して各自携帯灰皿を使用してはどうか。</p>	<p>含めて悩んでいるのは間違いございませんが、庁舎内に喫煙ルームを設ける考えはありません。</p> <p>布野支所についても、職員は勤務時間中にたばこを吸っていません。休憩中に職員も吸っていることは事実ですが、多くの方が一時にとというのは確認していません。ご意見があったことを伝え、対応していきたいと思っておりますので、ご理解をお願いします。</p> <p>携帯灰皿について、ご意見はよくわかりますが、現状も尊重しなくてはなりませんので、今後の検討課題ということで持ち帰らせていただきます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>公共施設の100%敷地内禁煙化をめざし、このほど新設した市役所本館の業務開始に合わせ、11月25日から敷地内を全面禁煙としました。また、市役所全支所においても早期に敷地内禁煙化に取り組みます。</p> </div>
<p>⑭ 中央通り商店街の沿道に、夜間照明が40基ほどついているが、これは14・15年前に高度化資金を利用して、中央通り商店街で設置し、昨年その償還が終わった。組合長からLEDにしないと、電気代の支払いがもたないという話を受け、明後日に組合長と一緒に相談に行かせていただきたいと思います。国の資金で3分の1負担のものがあると聞いたので、相談に伺いたいと思うが、どちらが窓口か。月々の電気代がまかなえないぐらいの喫緊の課題となっており、このままでは通りの灯が消え、</p>	<p>産業部の商工振興課が担当です。これは商店街まちづくり事業といい、中小企業庁が所管しています。制度の中身としては、商店街組織が行う地域住民の安全・安心な生活環境を守るための施設整備の費用に対して助成を行うもので、3分の2が補助対象になります。</p> <p>ただし、この制度の中身が合致するか、あるいは申請時期の関係もありますので、これについて市で確認し、中小企業庁とやりとりしながら進めさせていただきたいと思っております。</p>



会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【十日市会場】

テーマ

- (1) 太陽光発電の設置
- (2) 市道, 上水道の整備計画
- (3) 出会いの広場～やすらぎの広場の北溝川沿いへの防犯灯(街灯)の設置
- (4) 小規模農家に対する対策

平成26年7月22日(火) 会場名 十日市コミュニティセンター

意見・要望	回答
<p>新庁舎が建つ門前通りの電気が消えることになりかねない。 また、照明を設置したところから組合員数が随分減り、組合員の事情もあって、会費の徴収も非常に遅れている状況である。</p>	<p>後日商工振興課で相談を受けました。中央通り商店街において補助金交付に係る手続を実行されています。</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

### テーマ

- (1) 三次市文化会館の跡地利用 (2) 防災情報システムの確立  
 (3) 通学児童・生徒の交通安全施策の拡充

平成26年7月24日(木) 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>① 文化会館の跡地利用を中心とした、今後の三次町のまちづくりについては、3年にわたりワークショップを開催し、基本構想をまとめた。その概要については、町民の皆さんへチラシ等が配布されているが、この機会に文化会館の跡地利用そのものについて、具体的に説明していただき、意見交換をしたい。</p>	<p>本年2月に「三次地区のまちづくりを考える会」で「文化会館の跡地利用および拠点整備の基本構想」をまとめられ、これを受け、現在市では基本計画を策定しています。</p> <p>具体的には、情報案内機能、まちめぐりの発信地機能、体験アミューズメント機能、歴史・文化の伝承機能、地区内外の交流・まちづくり貢献機能、一部防災機能を備えた約1,000㎡の建物を計画しています。</p> <p>特に、三次地区の住民の皆さんが集えるスペースをとの要望を踏まえ、約100㎡の地区交流活動スペースを設け、多様な利活用の場となるよう検討していきたいと考えています。</p> <p>この施設は観光交流を拠点とした施設であり、観光客の皆さんに尾関山や本通りも含め三次町全体を回遊していただき、三次町全体が活気を帯びてくるような、三次町全体を三次町まるごと博物館として今後とも整備を進めていきたいと考えています。(本年12月には文化会館を閉館し、その後建設工事を開始する予定)</p> <p>補足として説明しますと、基本構想の概要(案)については、本年1月に三次地区の全戸へチラシを配布し、「広報みよし」3月号にも掲載、その後、まちづくりを考える会へ基本計画の策定素案を提示し、2回の意見交換を実施したところです。8月には三次地区の皆さんにも基本計画(案)の概要をまとめたチラシを配布し、三次市ホームページでも閲覧できるようにしています。今後は最終的な基本計画(案)の形にし、三次地区の住民の方々からも意見をいただき、議会へも説明していきたいと考えています。</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

テーマ

- (1) 三次市文化会館の跡地利用 (2) 防災情報システムの確立  
 (3) 通学児童・生徒の交通安全施策の拡充

平成26年7月24日(木) 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>② 防災情報伝達システムについて、取り組みの現状を教えてください。</p>	<p>三次市ではこれまで、災害時の情報伝達システムとして、合併前の8市町村の情報伝達方法(CATVの音声告知放送, NTTのオフトーク放送, 防災行政無線)により運用していましたが、防災行政無線のシステム機器の老朽化, オフトーク放送のNTTのサービス終了により、情報伝達システムの見直しが必要となり、平成25年度から3年間で市内全域に「防災・行政情報伝達システム」として、CATVの音声告知放送の整備を行っているところです。</p> <p>その他、災害時には、緊急一斉メールの配信や、台風のように事前に情報がわかるものについては各住民自治組織への連絡、場合によっては消防団と連携して直接広報車で放送するなど、状況に応じ、多様な手段により住民の皆さんへ情報をお伝えしています。</p> <p>各自主防災組織の皆さんには、自分たちで避難場所を考えていただき、常会等の細かい単位での防災マップの作成をお願いしています。平成25年度から3年間にわたり、「緊急地域防災力強化事業」として、毎年4,000万円の活動補助も行っています。これらをしっかり活用していただきながら、自分たちの命を自分たちで守る自助・共助の取り組みも進めていただきたいと思います。</p> <p>そのほか、要支援者の方については、現在民生委員さんの協力を得て、住民自治組織への情報提供の仕組みづくりを進めています。</p>
<p>③ 通学路である三次高野線について、これまでも整備していたが、今少し点検し、道路の拡幅や草でおおわれている部分の舗装の整備をお願いしたい。</p>	<p>三次高野線については、道路管理者である県により平成24年度に一部歩道の改良を行っています。また、平成23年度・24年度には、保護者、学校関係者、警察、県(道路管理者)等で合同点検を行っていますが、今年度5月に、警察庁、文部科学省、国土交通省から、通学路の安全確保のためのシステム構築について計画</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

テーマ

- (1) 三次市文化会館の跡地利用 (2) 防災情報システムの確立  
 (3) 通学児童・生徒の交通安全施策の拡充

平成26年7月24日(木) 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	<p>策定するよう通知も出されており、今後の整備について引き続き関係者の皆さんと検討をしていきたいと考えます。</p> <p>また、市政懇談会の各会場で、県道や河川に係る要望等が出されており、広島県北部建設事務所と協議し、現地にも行かせていただき、可能な限り対応できるよう努力していきたいと思います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>平成26年10月15日に広島県北部建設事務所長に要望し、要望の区間については、三次中学校や河内小学校の通学路であり、現在の歩道は狭小であるため、次期道路整備計画に位置付けを行い整備が進められるよう、今後においても要望を行います。</p> </div>
<p>④ 緊急一斉メールについて教えてほしい。</p>	<p>緊急一斉同報システムは、あらかじめメール登録していただき、三次市から災害に伴う情報（例えば大雨による警報、避難勧告や避難指示等）をお届けするものです。【登録方法：市政懇談会資料P.29掲載】</p>
<p>⑤ 三次中学校には駐車場が少なく、子どもの急病などで学校に行っても駐車場に困る。中学校の周辺の遊休地を貸したり売ったりしてもいいという話も聞いており、駐車場を整備してほしい。尾関山公園を中心とした観光客のための駐車場にもなる。</p>	<p>グラウンドを含めた中学校の敷地の最大限の活用をまず検討したうえで、さらに必要という事であれば、学校と相談しながら近隣の公共用地の活用について検討したいと思います。</p>
<p>⑥ 子どもの通学路の安全対策のため、大内通りを再点検してほしい。</p>	<p>国道375号の歩道について、三次町交差点から太才町交差点までの歩道が非常に狭いことは十分承知しています。広島県と協議し、電柱の移動や溝の蓋かけなどの対応もしていますが、全体的な整備として進んでいないのが現状です。</p> <p>道路管理者である広島県からは、どのような整備が可能か、地域の皆さんのご要</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

テーマ

- (1) 三次市文化会館の跡地利用 (2) 防災情報システムの確立  
 (3) 通学児童・生徒の交通安全施策の拡充

平成26年7月24日(木) 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	<p>望等を踏まえ、協議の場を設けながら検討したい、また、交差点に道路照明がない部分もあり、歩道の整備と合わせて検討していきたい旨聞いています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>現道内での歩道修繕工事の実施に向け、市や地元自治会の協力を得て、検討会で「整備の原案」を作成していただきました。これを受け、次のスケジュールで取り組む予定です。</p> <p>平成26年 : 実施計画策定, 測量・詳細設計                      平成27年～ : 工事</p> </div>
<p>⑦ 三次市文化会館の跡地利用について、今後整備後に活用方法を変えることがあった場合には、うまく方向転換できるような余裕のある施設の作り方をお願いしたい。</p> <p>また、大型バスを3台か5台以上は駐車できるスペースを三次町に確保してほしい。</p>	<p>拠点施設の使い方については、7月10日の意見交換の際にも、固定せず柔軟に対応できるようにすべき、地域の皆さんが知恵を絞りながら、徐々に内容を充実させていく育成型の施設であるべきではないかというご指摘をいただいております。その点をよく留意しながら進めて行きたいと思っております。</p> <p>基本計画の素案では、アミューズメント体験機能を備えるよう考えており、関心度や効果の持続性、また三次地区の資源の多様性を考え、幅広い内容に応用的に対応できる空間を確保するよう、バランスを取りながら進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>駐車場について三次地区拠点整備基本計画(案)の中では、大型バス3台程度確保できるように考えています。今後、具体的な設計の中で、小型車、大型車または路線バスについても検討していきたいと考えています。</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

テーマ

- (1) 三次市文化会館の跡地利用 (2) 防災情報システムの確立  
 (3) 通学児童・生徒の交通安全施策の拡充

平成26年7月24日(木) 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回答
<p>⑧ 緊急地域防災力強化事業に関し、備品については現物配布ではなく現金で、各町が自分たちの地域に合ったものを購入し、地域を守るために活用させてほしい。</p>	<p>三次市ではこれまで、災害時の緊急的な備蓄品の整備がなされていませんでした。そのため、まずは、緊急的に備蓄品の整備をしていくというものです。現金支給については一端持ち帰り、改めてお返しします。</p> <p>本年度、各コミュニティセンターへの基本的な備品の配布とは別に、市全体で1,000万円を補助金として出します。河内地区では38万円を配分する予定です。</p>
<p>⑨ 三次再生のツールの一つにぜひ桜を生かし、そしてオール三次で取り組める計画を作ってほしい。</p>	<p>今年度、(仮称)三次市花の里市民会議を立ち上げ、住民自治組織を中心に、ボランティアやNPO、企業の皆さんと協働して桜を中心とした里づくりを進めて行きたいと考えています。市民と行政の協働の取り組みの中で、花の里の実現に努力していきたいと思っています。</p> <p>現在、市民会議の立ち上げや、桜植栽の適期である2月から3月に向けて住民自治組織、NPO法人、任意団体を対象とした補助金交付の準備を進めています。</p>
<p>⑩ 遠方から通院する高齢者の方が、運転できなくなり、使いやすい公共交通機関がないため受診をあきらめ、その結果、悪化してから受診するという悪循環となっている。</p> <p>また、身近なかかりつけ医に相談したいと思われる方も多く、地域公共交通の利便性を向上させ、通いやすい環境を作ってほしい。</p>	<p>人口減少、高齢化が進展する中で、公共交通の課題は大変大きく、空気を運んでいる、利便性が悪いなどの指摘もいただいています。地域の特性に応じた交通手段として、市民タクシーやデマンドタクシー、市街地循環バス「くるるん」などを今後どのように組み合わせしていくか、また、市民の皆さんのアンケートや実態調査も踏まえながら、今年度、持続可能な公共交通網を形成するため交通計画を見直すように検討しています。</p>



会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

テーマ

- (1) 三次市文化会館の跡地利用 (2) 防災情報システムの確立  
 (3) 通学児童・生徒の交通安全施策の拡充

平成26年7月24日(木) 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	<p>今後、三次市の交通の指針となる公共交通網形成計画の策定を計画しており、その策定の過程において、まちづくりと一体となった公共交通網のあり方について検討することとしています。</p>
<p>⑪ 広島大学の杉山教授から、慢性関節リウマチの原因の半分くらいは喫煙であると言う話を聞いた。新しいシンボルとなる新庁舎を喫煙できる環境にしてほしくない。</p>	<p>三次市健康増進計画の中で、禁煙を進めて行くとしており、それをめざしていかなければならないと思っています。新庁舎における禁煙については、現在、最終調整の段階です。いずれにしても将来に向けて、健康増進計画を目標にしていくことは当然であると思っています。</p> <p>このほど新設した市役所本館の業務開始に合わせ、11月25日から本庁の敷地内を全面禁煙としました。</p>
<p>⑫ 時差式交差点（願橋・市立三次中央病院）について、赤信号の下に右折の矢印を出すようにすれば渋滞が少しは解消する。警察へは老人会から何回か申請したが、行政からも動いてほしい。</p>	<p>行政からも、三次警察署を通じて要望していきたいと考えます。</p>
<p>⑬ 旭橋の高低差の改良を早急に望む。</p>	<p>旭橋の高低差については、地元の皆さんと協議させていただいている途中ではありますが、現在暫定的な計画として、多少家屋の移転もしていただきながら、交通安全に配慮した計画としていきたいと考えています。</p> <p>本年5月27日、8月5日に寺戸自治会への説明会を開催しました。市の方針として、暫定的に視距改良、法線改良の計画を提案しましたが、</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

テーマ

- (1) 三次市文化会館の跡地利用 (2) 防災情報システムの確立  
 (3) 通学児童・生徒の交通安全施策の拡充

平成26年7月24日(木) 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	<p>地元の了解に至っていません。                      提案した暫定計画を基に縦断勾配等の修正を検討しています。</p>
<p>⑭ 三次高野線の歩道について、お年寄りが押し車を押して歩かれるときに危険であるので、早めになおしてほしい。</p>	<p>三次高野線の歩道の高低差については、道路管理者である広島県も一緒に現地を見て、検討させていただきます。</p> <p>平成26年10月15日に広島県北部建設事務所長に要望し、次のとおり回答がありました。                      歩道の幅員が狭いなか、また、小学校の通学路であるため、より歩行者の安全性を図るために車道から一段高い位置に歩道を設置しています。当面はご理解をいただきたい。</p>
<p>⑮ 自分は民生委員をしているが、福祉担当の職員は、もう少し地域へ出て、どんなお年寄りがおられるか把握していただきたい。</p>	<p>民生委員さんの活動には日頃高齢者の方が地域で安心して暮らせるよう、見守りなど大変お世話になっています。</p> <p>地域でのお年寄りの生活をいかにして支えていくかについて、大きな課題としてとらえています。福祉担当の職員が、自治会の皆さんとまちづくりの視点で勉強させていただきながら政策の中で生かしていきたいと思えます。また、個別の問題や相談がありましたら、遠慮なくご連絡をいただきたいと思えます。</p>
<p>⑯ 太才町に5年位前から空き家になり、崩壊寸前で危険な家屋がある。市へは何回も対応してほしいと言ったが、三角コーンを道路に置く程度である。皆さんの命がかかっており、持ち主を調べきちんと対応してほしい。近くには稲生武太夫の石碑</p>	<p>本件については、土地と建物の所有者が違い、建物の所有者はすでに亡くなっています。建物について、相続権者の一人とお会いすることもでき、担当課から再三再四解体除去を強く求めています。相当数の相続権者がおられる中で、なかなか話が前に進んでいない状況です。</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

### テーマ

- (1) 三次市文化会館の跡地利用 (2) 防災情報システムの確立  
 (3) 通学児童・生徒の交通安全施策の拡充

平成26年7月24日(木) 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>や尾関山公園，鳳源寺などがあり，訪れた観光客にも恥ずかしい。</p>	<p>ただ，現場は切迫した危険な状況であることから，緊急に安全措置をとるよう考えています。また，相続権者の方と今後どう話を進めて行けばいいか弁護士と相談しています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本件については，最低限の緊急安全措置として，平成26年9月3日，市が建物の一部を撤去し安全対策を行いました。</p> </div>
<p>⑰ 森林の施業が進んでいないのは，山林の境界確認ができないことも要因の一つであると思う。現在の地籍調査の事業がどのように進んでいるのか。</p>	<p>本市の山林部は，現在742.58㎦あり，このうち地籍調査が完了し登記まで済んだものが，54.56%です。地籍調査は補助対象事業ですが，さらに市費を相当額追加し事業を実施しています。</p> <p>現在調査中の面積が78㎦あり，これを含めた進捗率は約65%であり，現在のペースで進めると完了まであと30年近くかかることとなります。また，新しく着手する地区については，現在，三次市単独で「地籍先行調査」を考えており，今年度はモデル的に何地区かで実施し，早期に要綱を定め，来年度は希望地区を募りながらしっかり活用していただけるよう取り組んでいきます。</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【八次会場】

### テーマ

- (1) 巡回バスの巡回コース                      (2) 灰塚ダムの臨時放流時における警報施設の設置及び警報手法  
 (3) 尾道・松江道開通による県道三次和知線及びそれにつながる道路の安全施設の拡充  
 (4) 災害時の畠敷地域の避難場所の再確認と新規設置

平成26年7月29日(火)    会場名 八次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>① 願橋の架橋で畠敷地区と十日市地区の動線が変わった。また、市民ホールの建設も進み、これを機会に巡回バスの巡回コースの見直しをしてほしい。例えば、JR三次駅を起点に、福祉保健センター、畠敷、四拾貫、南畑敷、中央病院、十日市、三次、願橋経由でJR三次駅といった巡回コースの実現を望む。</p>	<p>市街地の循環バス「くるるん」、また庄原方面を含む路線バスについては、運行事業者の備北交通と協議しながら現在再編を検討しています。</p> <p>また、今年度、アンケートや実態調査を含めながら地域にとって望ましい公共交通のあり方について、公共交通網形成計画を策定する予定です。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>市街地循環バス「くるるん」については、来春一部経路の変更を予定しています。</p> </div>
<p>② 尾道松江線の開通による交通量の増加と、速度超過で通行する車に対する安全対策をしてほしい。</p> <p>県道434号線（県道和知三次線）では、下畠敷の交差点に右折車線がないため、通勤時間帯の渋滞が慢性化している。通学時の子どもたちは信号に従って横断していても、信号無視して交差点に進入する車と遭遇する危険が繰り返されている。時差式信号など安全対策に取り組んでほしい。</p> <p>また、国道183号では、通学時の子どもたちの安全性の確保のため、下井・三次花壇付近（四拾貫町）の交差点に信号機を設置してほしい。</p>	<p>規制関係の内容については、市では対応できない部分がありますので、三次警察署や広島県公安委員会と協議をさせていただきます。</p> <p>交通安全に向けては、地域・行政・警察・学校関係者が一体となり、まずは課題整理の取り組みを進めていきます。</p>
<p>③ 巡回バスの乗車率をお聞きしたい。</p>	<p>平成25年度の平均乗車人数は約6人です。皆さんに乗車していただくよう取り組みを進めていきたいと考えます。</p>
<p>④ 道路の安全対策の対応について、縦割り行政が市民の安心・</p>	<p>道路管理者が広島県の場合、市の一存では対応できない部分がありますので、</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【八次会場】

テーマ

- (1) 巡回バスの巡回コース (2) 灰塚ダムの臨時放流時における警報施設の設置及び警報手法  
 (3) 尾道・松江道開通による県道三次和知線及びそれにつながる道路の安全施設の拡充  
 (4) 災害時の畠敷地域の避難場所の再確認と新規設置

平成26年7月29日(火) 会場名 八次コミュニティセンター

意見・要望	回答
<p>安全を阻害しているように思われる。一日も早く安心・安全の施策をしてほしい。</p>	<p>要望のあったことを広島県へ伝え、しっかり連携を深めます。</p>
<p>⑤ 下水道事業について、平成20年度下水道基本構想説明書には、集合処理施設へ接続した方が有利と判断した区域と有利と判断されていない区域がある。この仕分け方法をお聞きしたい。今後、下水道事業について計画の見直しがあるのか、事業認可を受ける計画があるのかお聞きしたい。地域での排水路の掃除に支障が出てくる。</p>	<p>管路延長にたくさんの住宅がある場合が有利で、不利というのは住宅が少ない場合です。                  事業の認可を受けた区域の外側には、整備計画があります。現在、事業認可区域の整備に全力で取り組んでいますので、今後の展開については、もう少し先で考えることとなります。                  下水道事業は、大きな計画の中で進めていますので、排水路の掃除については、各地域で対応を検討していただきたいと思います。</p>
<p>⑥ 三次市が発送した文書の誤送付について、責任が業務委託先にあるのかないのかをお聞きしたい。</p>	<p>業務受託業者が責任を認めています。ただ、市において間違いを見つけることができなかった点については、市にも責任があると考えています。今後、再発防止に向けて、チェック体制を整えていきます。</p>
<p>⑦ JR駅舎をバスセンターと複合一体化することで、より利便性が高まると思うが、なぜそうしないのか。</p>	<p>できるだけ経費をかけないで、限られたスペースの中で有効的な施設を整備するというで今回の手法にまとまりました。なお、シェルターを施工して駅舎からバス乗り場やタクシー乗り場まで雨に濡れることなく移動できる対応も計画しています。                  また、ホームをつなぐ跨線橋については、バリアフリーの対応をJRへお願いしています。</p>
<p>⑧ 市内中心部の道路の側溝蓋の整備が進んでいない。</p>	<p>三次高校周辺の道路のことかと思いますが、こういった整備ができるのかを検討しています。</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【八次会場】

### テーマ

- (1) 巡回バスの巡回コース                      (2) 灰塚ダムの臨時放流時における警報施設の設置及び警報手法  
 (3) 尾道・松江道開通による県道三次和知線及びそれにつながる道路の安全施設の拡充  
 (4) 災害時の畠敷地域の避難場所の再確認と新規設置

平成26年7月29日（火） 会場名 八次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
⑨ 子育てをしている若者にとって、本当に幸せな町が実現されるよう、小さな要望を大切にしていきたい。	これまでの10年間の市政運営は、都市機能の整備（ハード事業）に重点をおいて取り組んできました。今後10年間は、ソフト事業を充実させていきます。女性が働きながら子育てできる環境日本一をめざして、一つひとつ確実に実現させていきたいと思えます。
⑩ 新しい公的施設には、聴覚障害者が困らないように手話通訳者を配置してほしい。	三次市福祉保健センターでは、障害者支援センターと連携し、手話通訳の対応をしています。新庁舎が完成後は、福祉保健部が新庁舎へ移転するため、今後の対応について検討します。
⑪ 市政懇談会の資料から、「安全・安心」という今までのスローガンが消えたのは、実現することができなかったからか。	まちづくりの取り組みの柱として、当然、安全で安心ということを入れていきます。（市政懇談会配布資料P.2掲載）
⑫ 地方交付税が減っていく中で、三次市の財政状況について、本当にこのままで大丈夫なのか。	平成26年度予算では、公債費は18.8%となっています。この公債費77億1,000万円のうち利息は6億円です。そして、市債よりも公債費が上回っている状況です。市の預金となる財政調整基金は、約41億円です。市の財政状況を表す指標の実質公債費比率は13.1%、将来負担比率は平成24年度に69.6%となっています。これらの財政指標から将来の財政状況を予測いただけると思えます。現在、危険な状況にはありません。
⑬ 聴覚障害者の中には、手話のできない人もいます。要約筆記を必要としている難聴者、中途失聴者の立場を考えてほしい。	聴覚障害者には、手話と要約筆記の二つの方法でコミュニケーション支援が行われています。市役所では窓口には要約筆記ボードを設置しています。また、要約筆記のサークルの方による職員研修をしています。コミュニケーション支援は、障害者の社会参加のために必要ですので、ご意見を十分に聞かせていただき対応を検討したいと思います。



## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【八次会場】

### テーマ

- (1) 巡回バスの巡回コース
- (2) 灰塚ダムの臨時放流時における警報施設の設置及び警報手法
- (3) 尾道・松江道開通による県道三次和知線及びそれにつながる道路の安全施設の拡充
- (4) 災害時の畠敷地域の避難場所の再確認と新規設置

平成26年7月29日(火) 会場名 八次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
⑭ 八次地域では宅地造成が無計画に進んでおり、区画整理事業の必要性がある。この状態のままでよいのか行政の意見を聞かせてほしい。	住民と行政が協働したまちづくりをどう進めていくかということが問われていると思います。八次地区連合自治会を中心に八次地域のまちづくりはどうあるべきかを検討いただき、今できること、そして将来どうあるべきかを一つひとつ考え進めていくことが大事です。ただ、八次地域に区画整理を行うには、膨大な事業費を要するものと考えられます。とても大きな問題ですので、お互いに考えていきたいと思っています。
⑮ 道路整備における用地買収の考え方をお聞きしたい。	公共性によって変わります。集落の生活道の場合は、用地を寄附していただいています。そして、集落と集落を結ぶものや広域性のある道路については用地を買収させていただいてきたという状況です。他市でもほぼ同様な対応です。
⑯ 行政の責任の取り方が甘いから、職員の気が緩み、ミスがおこるのではないか。	ご指摘は真摯に受け止めさせていただきます。市民の信頼を損なうことのないよう再発防止に向けてしっかり取り組みます。